Panasonic®

保証書付き

取扱説明書

IC レコーダー

品番 **RR-XS410**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（P84 ～ 87）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
  取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください。（P94）

安全上のご注意
準備
基本操作
応用操作
パソコンと使う
その他

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 ネットワークシステム事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3T12-1
M0611KZ1081

本機の楽しみかた

録音する

本機はリニア PCM（以降は PCM と記載）形式の録音に対応しています。PCM 録音ではデータを圧縮しないため、CD 音質にせまる高音質な録音ができます。

再生して聴く

・録音ファイル
・WMA、MP3 音楽ファイル

FM ラジオを聴く

内蔵している FM チューナーを使って、FM ラジオを聴いたり、録音したりできます。

パソコンと接続する

・充電する / USB 電源で使う
・録音 / 音楽 / データファイルの移動や整理をする

タイマーで録音 / 再生する

指定した時刻に FM ラジオやマイクから録音することができます。また、指定した時刻に FM ラジオやアラームを鳴らしたり、ファイルを再生したりすることができます。

付属品の確認

□ステレオインサイドホン
【L0BAB0000172】
□単 4 形アルカリ乾電池：1 本

● かっこ【　】内は、2011 年 6 月現在の品番です。
● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品（上記）と別売品（P34 ～ 36、61、63）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P84 ～ 87）

準備

基本操作

応用操作

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P84 ～ 87）

パソコンと使う

その他

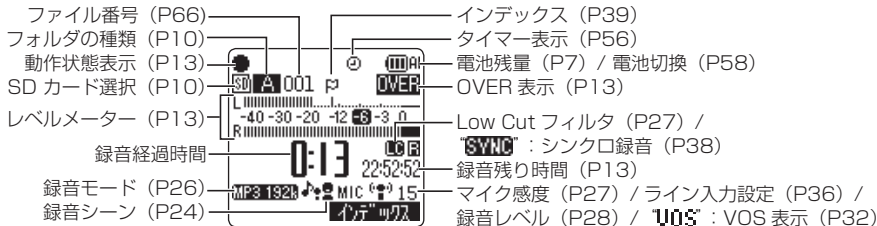
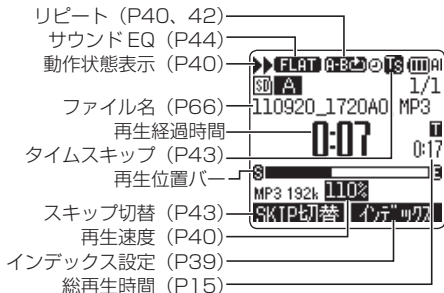
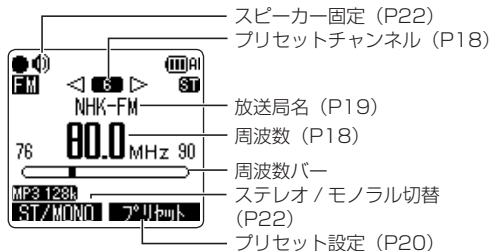
各部のなまえ

① 内蔵マイク
② 表示部
③ F1 ボタン
④ F2 ボタン

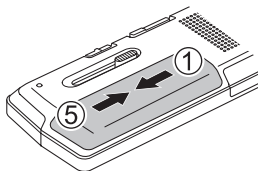
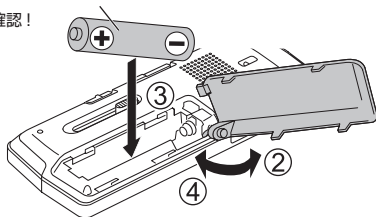
F1、F2 ボタンは、表示部に表示された機能の動作を行います。

⑤ ■ 停止 / 戻るボタン
⑥ ● 録音ボタン
⑦ ＋（音量）ボタン
⑧ ⏮（早戻し）ボタン
⑨ ▶ OK ボタン
⑩ リスト🔍ボタン
⑪ −（音量）ボタン
⑫ ⏭（早送り）ボタン
⑬ メニューボタン
⑭ マイク / ライン端子（🎤）
⑮ 早聞きボタン
⑯ 遅聞きボタン
⑰ 録音ランプ（動作表示ランプ）
⑱ A-B↻/FM ボタン
⑲ 消去ボタン
⑳ ストラップ取り付け穴
㉑ 内蔵スピーカー
㉒ 電源 / ホールドスイッチ
㉓ ライン / マイク切り替えスイッチ
㉔ USB 端子スライドレバー
㉕ インサイドホン端子（🎧）
㉖ 電池ふた
㉗ USB 端子ふた
㉘ USB 端子
㉙ SD カード挿入部ふた
㉚ SD カード挿入部

画面表示

■録音中の画面表示（※）

■再生中の画面表示（※）

■FM ラジオ使用時の画面表示（※）

● FM ラジオ放送録音時、バックライト（P58）は消灯します。

※ 画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

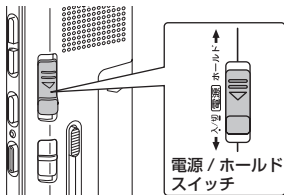
電池を入れる

● 電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。
● 別売の充電式電池もお使いになれます。（P63）

本機の動作中、下記の電池残量表示が表示されます。

● 電池残量がなくなると“ ”が点滅します。お早めに電池を交換してください。
● 時計設定を保持するため、電池交換時は事前に交換用の電池を準備しておき、交換は約1分以内に行ってください。
● 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
● ファイル消去（P16）、ファイル分割（P50）、インデックス消去（P39）、フォーマット（P59）の実行や録音開始時は電池残量が必要です。電池残量表示が“ ”（点滅）のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源OFFになります。
● **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
  - 電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。
● 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

電源を入れる / 切る

電源を入れるには：

電源 / ホールドスイッチを［入 / 切］側にスライドさせると電源が入り、表示部が点灯します。

初めて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。(P9)

電源を切るには：

電源 / ホールドスイッチを［入 / 切］側に約 1 秒以上スライドさせます。

■オートパワーオフ

録音一時停止や停止状態で一定時間（お買い上げ時は 15 分）経過すると自動的に電源が切れます。(P58)

ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

ホールド機能を使うには：

使用中に、電源 / ホールドスイッチを［ホールド］側にスライドさせます。

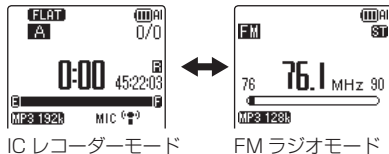
- ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けない（"ホールド設定" が表示されます。）ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。

IC レコーダーモード /FM ラジオモード

本機には、音声を録音したり、本機に転送した音楽などを聴いたりするときの「IC レコーダーモード」と FM ラジオを聴くときの「FM ラジオモード」があります。

動作モードを切り替えるには：

［■停止 / 戻る］を押して、停止した状態で［A-B↻/FM］を押す。押すたびに IC レコーダーモードと FM ラジオモードが切り替わります。

IC レコーダーモード　　FM ラジオモード

時計を合わせる

お買い上げ時、本機の時計は設定されていません。
時計はファイル名（P66）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。時計設定されていない状態で電源を入れると、手順 ❹ の画面が表示されます。

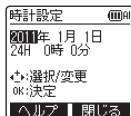
・電源を入れておく。（P8）

❶ **[メニュー] を押す**

❷ **＋、－で“共通設定”を選び、[▶ OK] で決定する**

❸ **＋、－で“時計設定”を選び、[▶ OK] で決定する**

❹ **＋、－で年を設定し、▶▶| を押す**
右記イラストは表示例です。

時計設定
2011年 1月 1日
24H 0時 0分
選択/変更
OK:決定
ヘルプ | 閉じる

❺ **＋、－で月を設定し、▶▶| を押す**

❻ **＋、－で日を設定し、▶▶| を押す**

❼ **＋、－で時刻表示方式を選び、▶▶| を押す**
24 時間表示は“24H”、12 時間表示は“AM / PM”を選択します。

❽ **＋、－で時を設定し、▶▶| を押す**

❾ **＋、－で分を設定する**
設定を変更するには、|◀◀、▶▶| で項目を移動し、再度＋、－で設定してください。

❿ **[▶ OK] で決定する**
日時が設定され、時計動作を開始します。

設定画面を消すには［F2（閉じる)］を押す。

“ヘルプ”とは
画面に“ヘルプ”が表示されている場合、[F1] を押すと操作状況に応じた説明を見ることができます。もう一度［F1］を押すと元の画面に戻ります。

● 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
● 電池が消耗し切った状態になると、時計設定は解除されます。

ファイルとフォルダについて

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。
この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

- マイク録音用の“A、B、C、D”フォルダ（P12）
- 本機に接続した他機器から録音したファイル用の“L”フォルダ（P36）
- FM ラジオ放送録音用の“FM”フォルダ（P23）
- 消去したファイルが入る“🗑”（ゴミ箱）フォルダ（P53）
- 音楽用の“M”フォルダ（P47）

目的別にフォルダを使い分けて録音しておくと、あとで探すときに便利です。各フォルダには最大 199 ファイルまで録音できます。
フォルダは内蔵メモリー内に作成されています。SD カード※（P45）を挿入した場合は、SD カードにも同様のフォルダが作成されます。

※ microSD/microSDHC カードを本書では「SD カード」と表記します。

フォルダを選択する

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ **[F2（フォルダ)］を押す**

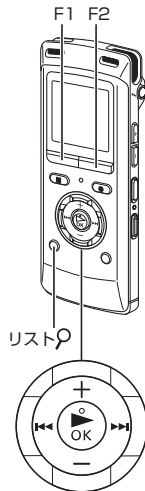
❷ **＋、－、⏮、⏭ でフォルダを選び、[▶ OK］で決定する**

“P1 ～ P5”はプレイリストファイル（P48）です。

SD カードを入れている場合は、❷ の画面で SD カードの項目が表示されます。[F1（メモリー切替)］を押して“内蔵メモリー”または“microSD”を選択してください。

内蔵メモリー選択時

SD カード選択時

SD カード選択時は、画面に“SD”が表示されます。

リスト画面からフォルダやファイルを選択する

録音したファイルをリスト表示して選ぶことができます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ [リスト⚲] を押す

❷ +、−で“■フォルダ検索”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で内蔵メモリーを選び、[▶ OK] で決定する

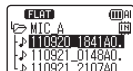
SD カードを入れている場合は “microSD カード” が表示され、どちらかを選択できるようになります。

❹ +、−でフォルダを選び、[▶ OK] で決定する

□：フォルダ

MUSIC フォルダ内にフォルダを作成している場合は、手順 ❹ を繰り返して目的のフォルダを選択します。

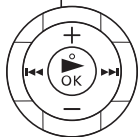
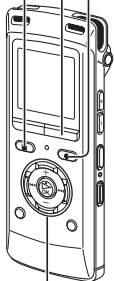
❺ +、−でファイルを選び、[▶ OK] で決定する

ファイルの再生を開始します。

手順 ❹ で「MUSIC」を選んだ場合、PLAYLIST フォルダ、パソコンから転送したフォルダやファイルが表示されます。(PLAYLIST の詳細は P48)
フォルダ(例:アーティスト A)の下(第 2 階層)にフォルダを作っている場合は、「アーティスト A」を選んで [▶ OK] を押すとその下のフォルダが表示されます。(フォルダ階層の詳細は P67)

手順 ❺ の画面から ⏮ を数回押すと、手順 ❹ や ❸ の画面などに切り替わります。フォルダ階層を移動して、フォルダやファイルを選ぶことができます。

- 選んだフォルダにファイルがない場合、「No File」が表示されます。
- “A、B、C、D、L、FM、M、🗑” フォルダは、リスト画面では “MIC_A(MIC_A_SD)、MIC_B(MIC_B_SD)、MIC_C(MIC_C_SD)、MIC_D(MIC_D_SD)、LINE(LINE_SD)、FM(FM_SD)、MUSIC、RECYCLE” と表示されます。(かっこ内は SD カードの場合)
- 手順 ❸ の画面で [F1 (タブ切替)] を押すと “フォルダ検索” と “録音ファイル検索” を切り替えます。(P46)
- 停止中または再生中に、[リスト⚲] を約 1 秒以上押したままにすると、手順 ❺ の画面を直接表示できます。

録音する

■ 停止 / 戻る
F2
● 録音

・電源を入れておく。(P8)
・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ [F2(フォルダ)] を押す

❷ ◀◀、▶▶ で録音先のフォルダを選び、[▶ OK] で決定する

マイク録音の場合は、“A、B、C、D”フォルダから選んでください。
(お買い上げ時は“A”)
“A、B、C、D”以外を選んだ場合、自動的に“A”へ録音されます。

❸ [● 録音] をポンと押す(録音開始)

録音ランプが点灯します。

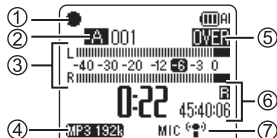
❹ [■ 停止 / 戻る] を押して、録音を停止する

録音を一時停止する:

❶ 録音中に [●録音] を押す
録音ランプが点滅します。

❷ 録音を再開するときは、もう一度 [●録音] を押す

● 録音シーンごとに登録された録音設定を呼び出して、選択することができます。(P24)
● 必要に応じて録音モードやマイク感度を変更してください。(P26、27)
● 録音中のファイルサイズが 2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間(2 秒程度)の内容は録音されません。
● 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。お気をつけください。

録音中の画面表示：

① 動作状態表示
- ●：録音中
- ❚❚：録音一時停止中 / 録音スタンバイ中 / 過去録音待機中

② フォルダの種類（P10）、ファイル番号

③ レベルメーター
本機へ入力される音量を表示します。（ステレオ（L/R））モノラル録音（P26）のときも L/R 各々の音量が表示されますが、録音データは L/R を合成したものになります。

④ 録音モード（P26）

⑤ OVER 表示
入力音量が大きすぎてレベルメーターが振り切れると、"OVER" が表示されます。

⑥ 録音残り時間
選択中の録音モードの場合の録音残り時間（録音可能時間）を表示します。

⑦ マイク感度（P27）

その他の画面表示については、P6 をご覧ください。

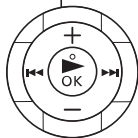
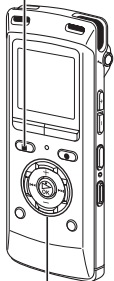
上手に録音するために

本機は高感度マイクを搭載しているため、録音中マイクに直接息や風が当たると風切り音として録音されたり音声が聞き取りにくくなる場合があります。

1. 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当たらない状態にすると改善できます。

2. 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。

※ Low Cut フィルタ（P27）を ON にすると低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

■ 停止 / 戻る

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)
- フォルダを選択しておく。(P10)
- ファイルを選択しておく。(右記)

❶ [▶ OK] を押す(再生開始)

音量を調整する

音量を大きくする:+ を押す
音量を小さくする:− を押す
0 から 20 までの間で調整できます。
(お買い上げ時は"10")
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

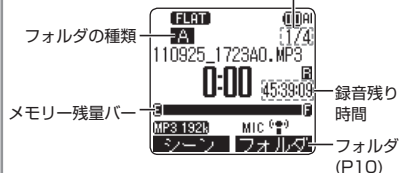
再生中の操作

とび越し(スキップ):
⏮、⏭ をポンと押す
ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 1 秒以内に ⏮ を押します。

早戻し / 早送り(サーチ):
⏮、⏭ を押したままにする

停止:[■ 停止 / 戻る] を押す

ファイルの選択

⏮、⏭ で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。

停止中の画面例

リスト画面からもファイルを選択できます。(P11)

情報を確認する

ファイル情報や現在時刻を確認することができます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ **[■ 停止 / 戻る］を押す**

情報画面が表示されます。

❷ **＋、－で情報画面を上下に動かす**

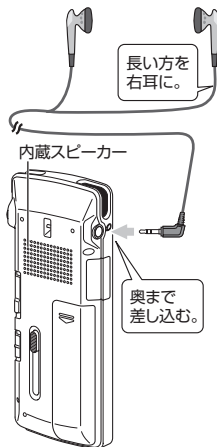
情報画面では以下の内容が確認できます。

録音残り時間：現在設定中の録音モードで録音可能な残り時間
録音日時※　：選択中のファイルを録音した日と時刻
総再生時間　：選択中のファイルの長さ
ファイル形式：選択中のファイルの形式
現在時刻　　：現在の時刻
※ M（MUSIC）フォルダでは表示されません。

情報画面を消すには：[■停止 / 戻る］を押す

● FM ラジオモード（P8）の場合は、情報画面を表示することはできません。

インサイドホンで音声を聴く

付属のステレオインサイドホンを接続してください。
（プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ）

録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聴くことができます。

音量を調整する：

＋、－ を押すと音量を調整できますが、録音レベル（P28）には影響しません。

再生中の音声を聴く

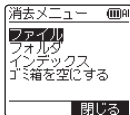
再生中の音声は内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞きください。

● インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

● FM ラジオをスピーカーで聴く設定にしている場合は、インサイドホンを接続していても内蔵スピーカーから音声が出ます。（P22）

ファイルを消去する

- 消去したいファイルを選んでおく。(P14)
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

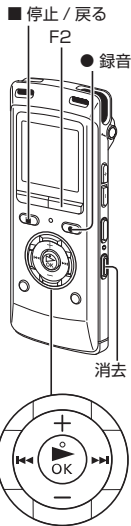
❶ [消去] を押す

❷ +、−で"ファイル"を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で"実行"を選び、[▶ OK] で決定する

消去中は、動作表示ランプが点滅し、"消去実行中"と表示されます。消去の完了までに数分かかる場合があります。
"🗑ゴミ箱に移しました"と表示されたら、[▶ OK] を押します。
手順 ❷ で"フォルダ"を選択すると、選択中のフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

消去画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

リスト画面から消去することもできます

リスト画面 (P11) でファイルを選び [消去] を押すとそのファイルの消去画面に移ります。
フォルダを選んで [消去] を押すとそのフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

- ゴミ箱機能を ON にしている場合、ファイルはゴミ箱 (🗑) フォルダに移動します。ゴミ箱機能が OFF 設定の場合、ファイルはゴミ箱 (🗑) フォルダに移動せず完全に消去されます。(P53、59)
- MUSIC (M) フォルダのファイルはゴミ箱機能の設定に関わらず、完全に消去されます。
- 消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。(P66)
- パソコンから転送した読み取り専用の MP3 音楽ファイルや、パソコンで作成した MUSIC フォルダのサブフォルダ(P67、68)は、本機では消去できません。パソコンで消去してください。(P65)

サウンドモニター機能

マイクで集音した音を強調、調整してステレオインサイドホンで聴くことができます。本機には 4 つのサウンドモニターシーンがあります。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)
・インサイドホンを接続しておく。(P15)

1 [▶ OK] を約 1 秒以上押したままにする

音量が 17 以上の状態でサウンドモニターを起動した場合、音量は 16 に設定されます。

2 ⏮、⏭ でサウンドモニターシーンを選ぶ

3 ＋、－で音量を調整する

サウンドモニター機能を停止するには：

[■ 停止 / 戻る] を押す。

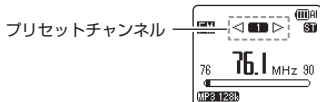
サウンドモニターシーン	効果と用途
◀【レクチャー】▶	音声帯域を強調し、会話など人の声の聞き取りに適しています。
◀【テレビ】▶	広い周波数帯域で集音します。臨場感あふれるテレビ視聴などに適しています。
◀【パーティー】▶	全方向からの音声を強調して集音します。複数人での歓談などに適しています。
◀【ホール】▶	低･中音域を強調します。発表会など、広い屋内での音声などの聞き取りに適しています。

● サウンドモニター中に、[● 録音] を押すと録音を開始します。
 ・選択中のサウンドモニターシーンで強調、調整された音声が録音されます。
 ・録音の場合は、サウンドモニター機能を設定する前に選ばれていたフォルダに録音されます。
 ・過去録音機能（P33）が ON の場合は、サウンドモニター中に［● 録音］を約 1 秒以上押すと、過去録音待機の状態になります。
 ・録音モード（P26）はすべてのサウンドモニターシーンで「MP3 192kbps」となります。
● 接続した外部マイク（P34）の音声でも、サウンドモニターを使って聴いたり録音したりできます。（接続したマイクの特性によっては、内蔵マイクを使用したときと効果が異なる場合があります。）
● ハウリングを防止するため、インサイドホンとマイクを近づけないでください。

FM ラジオを聴く

本機で FM ラジオの放送を聴いたり、録音したりすることができます。
ステレオインサイドホンのコードが受信のためのアンテナとなります。インサイドホンを本機のインサイドホン端子に奥までしっかり差し込み、コードをしっかり伸ばしてください。

選局モードを選択する

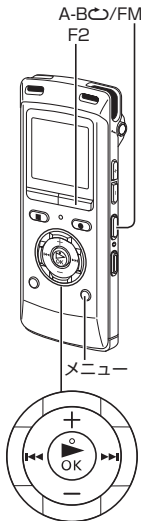
本機には、FM ラジオの周波数を合わせて聴くマニュアル選局モードと、登録した放送局を選局するプリセット選局モードの 2 つの選局モードがあります。プリセット選局モード画面では「プリセットチャンネル」が表示され、マニュアル選局モード画面ではその箇所に何も表示されません。

FM ラジオモードで［▶ OK］を押すたびにプリセット選局モードとマニュアル選局モードが切り替わります。

周波数を合わせて聴く（マニュアル選局モード）

❶ **[A-B⮌/FM] を押して、FM ラジオモードにする**

❷ **マニュアル選局モードに切り替える（左記）**

❸ **⏮、⏭ を押して、周波数を合わせる（0.1 MHz 間隔）**

❹ **+、−で音量を調整する**

- 手順 ❸ で ⏮、⏭ を約 1 秒押すと画面に“サーチ中...”と表示され、自動的に周波数が変わり、放送局を受信すると自動で停止します。
  - ・電波が弱く受信状態が良くない場合は、自動で停止しない場合があります。
  - ・周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。
- FM ラジオを聴くときは、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用ください。
- テレビやパソコンなどの近くで FM ラジオを聴くと受信状態が悪くなることがあります。このような場合は、本機を離してご使用ください。

お使いになる地域を設定する

お使いの地域を設定するとその地域の放送局を簡単に選局することができます（エリアバンド機能）。

❶ ［メニュー］を押す

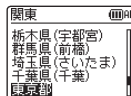
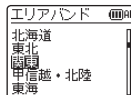
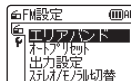
❷ ＋、−で“ FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、−で“エリアバンド”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、−で受信する地域を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“ユーザー”）

❺ ＋、−で受信する都道府県を選び、［▶ OK］で決定する

設定した地域の放送局がプリセットチャンネルに登録されます。

設定画面を閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

登録された放送局を聴く（プリセット選局モード）

プリセット選局するには、あらかじめ放送局をプリセットチャンネルに登録しておいてください。

- 地域設定で放送局を登録する（左記）
- 放送局を自動で登録する（P20）
- 放送局を個別に登録する（P20）

❶ ［A-B⟲/FM］を押して、FM ラジオモードにする

❷ プリセット選局モードにする（P18）

❸ ⏮、⏭ を押して、プリセットチャンネルを切り替える

エリアバンドを設定すると画面に放送局名が表示されます。

放送局を自動で登録する

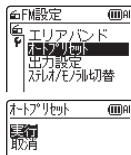
お使いの場所で受信できる放送局を自動で登録することができます。（オートプリセット機能）

・インサイドホンを接続しておく。（P15）

1 ［メニュー］を押す

2 ＋、－で“ FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

3 ＋、－で“オートプリセット”を選び、［▶ OK］で決定する

4 ＋、－で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

“オートプリセット中 ...”と表示され、下限周波数から選局が始まり、受信した放送局が自動的に“エリアバンド”の“ユーザー”に登録されます。上限周波数に達すると選局を終了し、プリセットチャンネル 1 が表示され、登録された放送局を受信します。

● 電波が弱く受信状態が良くないときは、放送局が登録されない場合があります。また、妨害電波などがあるときは、受信可能な放送局以外の周波数が登録される場合があります。

● 登録される放送局は最大 20 局です。

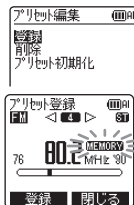
放送局を個別に登録する

受信中の放送局をプリセットチャンネルへ登録することができます。（最大 20 チャンネル）

1 登録したい放送局を選局する（P18）

2 ［F2（プリセット）］を押す

3 ＋、－で“登録”を選び、［▶ OK］で決定する

4 ⏮、⏭ で登録したいプリセットチャンネルを選び、［F1（登録）］で決定する
（［▶ OK］でも決定できます。）

選んだチャンネルに放送局が登録されます。

設定画面を途中で閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

● 地域を設定（P19）したあとでプリセットチャンネルを登録する場合は、登録内容が地域のプリセットチャンネルに上書きされます。それ以外の場合は、登録内容が“ユーザー”のプリセットチャンネルに上書きされます。

F1 F2

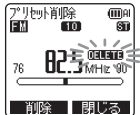
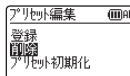
メニュー

プリセットチャンネルを削除する

❶ **プリセット選局モードで削除したい放送局を選ぶ**（P19）

❷ **［F2（プリセット)］を押す**

❸ **＋、－で“削除”を選び、［▶ OK］で決定する**

❹ **［F1（削除)］で決定する**
（［▶ OK］でも決定できます。）

選んだ放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。（次の放送局がない場合は、チャンネル 1 に戻ります。）

設定画面を途中で閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

プリセットチャンネルを初期化する

変更を加えたエリアバンドの設定を個別にお買い上げ時の状態に戻します。

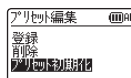
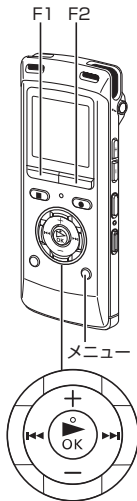
・FM ラジオモードにしておく。（P18）

❶ **初期化したいエリアバンドを選ぶ**（P19）

❷ **［F2（プリセット)］を押す**

❸ **＋、－で“プリセット初期化”を選び、［▶ OK］で決定する**

プリセット編集
登録
削除
プリセット初期化

❹ **＋、－で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する**
プリセットチャンネルの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

設定画面を途中で閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

FM ラジオをスピーカーで聴く

本機にステレオインサイドホンを接続したまま、内蔵スピーカーから FM ラジオの音声を出力させることができます。

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

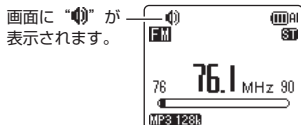
❸ ＋、－で“出力設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“スピーカー固定”を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“自動切替”）

自動切替：インサイドホン接続時は、インサイドホンから出力します。

スピーカー固定：スピーカーから出力します。（インサイドホンからは出力されません。）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

ステレオ / モノラルを切り替える

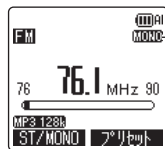
受信状態が悪いとき、ステレオからモノラルに切り替えると聞き取りやすくなる場合があります。

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“ステレオ / モノラル切替”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“モノラル”を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“ステレオ”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

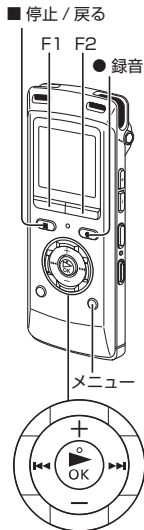
● FM ラジオの画面で［F1（ST/MONO)］を押しても、ステレオ / モノラルの切り替えができます。

FM ラジオを録音する

・FM ラジオを受信しておく。

❶ **[● 録音］を押す**

録音ランプが点灯します。（一時停止中は点滅）

停止する：［■ 停止 / 戻る］を押す

● FM ラジオの録音ファイルは、“FM”フォルダ（SD カードが選ばれているときは“FM_SD”フォルダ）に保存されます。
● FM ラジオの録音モードは、「MP3 128kbps」のみです。
● 録音中、表示部のバックライトは消灯します。
● 受信状態が悪い場合（ノイズが入っている場合）に録音すると、ノイズが増幅されることがあります。耳で聴いてノイズが聴こえなくても、録音するとノイズが入る場合があります。窓際など、電波状態の良い場所でラジオを録音してください。

録音シーンを選択する（シーンセレクト）

本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで手軽に録音することができます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ [F1（シーン)］を押す

❷ ⏮、⏭ で録音シーンを選び、[▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で"呼出し"を選び、[▶ OK］で決定する

選択した録音シーンが表示されます。

［●録音］を押すと、選択した録音シーンの設定で録音されます。

■録音シーンのお買い上げ時の設定

録音シーン（用途）／設定項目	語学学習	カラオケ	楽器演奏	会話	会議	講義	お気に入り
	発音練習など自分の声の録音に。	カラオケなど音量が大きな録音に。	楽器演奏など高音質な録音に。	インタビューや会話など声の録音に。	広い音声帯域を集音、会議室での録音に。	教室での講義など特定方向の音の録音に。	お好みの設定を登録する場合に。
録音モード（P26）	MP3：192 kbps	MP3：320 kbps	PCM：48 kHz	MP3：64 kbps	MP3：192 kbps	MP3：192 kbps	MP3：192 kbps
マイク感度（P27）	高	高	高	高	高	高	高
録音レベル調整（P28）	自動	手動	手動	自動	自動	自動	自動
Low Cut フィルタ（P27）	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF
録音ピークリミッター（P29）	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音（P31）	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
VOS 設定（P32）	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
過去録音設定（P33）	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

録音シーンの設定を変更する

各録音シーンの設定内容を、お好みに応じて変更することができます。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

1 [F1（シーン)］を押す

2 ⏮、⏭ で変更したい録音シーンを選び、[▶ OK］で決定する

3 +、−で“設定変更”を選び、[▶ OK］で決定する

4 +、−で変更したい項目を選び、[▶ OK］で決定する

5 +、−で設定を選び、[▶ OK］で決定する

手順 4 、5 を繰り返して他の項目を変更します。

6 設定が終了したら +、−で“設定完了”を選び、[▶ OK］で決定する

変更した録音シーンを選択する場合は、“呼出し”を選んでください。(P24)

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

録音シーンの設定を初期化する

変更を加えた録音シーンの設定を個別にお買い上げ時の状態に戻します。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

1 [F1（シーン)］を押す

2 ⏮、⏭ で初期化したい録音シーンを選び、[▶ OK］で決定する

3 +、−で“初期化”を選び、[▶ OK］で決定する

4 +、−で“実行”を選び、[▶ OK］で決定する

選択した録音シーンの設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
初期化した録音シーンを選択する場合は、“呼出し”を選んでください。(P24)

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

録音モードを選択する

録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質を選ぶことができます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“マイク録音モード”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で設定（PCM サンプリング周波数 /MP3 ビットレート）を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“MP3 192kbps”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

選択した録音モードが表示されます。

F2

メニュー

● 録音モードの設定によって音質と録音可能時間（P81）が変わります。

録音方式	PCM 48 kHz	PCM 44.1 kHz	MP3 320 kbps	MP3 192 kbps	MP3 128 kbps	MP3 64 kbps	MP3 32 kbps

● 録音モードが“MP3 32kbps”の場合、モノラル録音になります。

マイク感度を切り替える

音源の音量に応じてマイク感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を“低”に、音量が小さい場合は感度を“高”に設定します。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

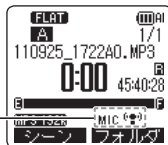
❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“マイク感度”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“感度:高”または“感度:低”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“感度：高”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

感度：高は“”、感度：低は“”が表示されます。

ノイズカット（Low Cut フィルタ）

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させます。会議録音などで気になる空調設備の音などを低減したいときに効果的です。

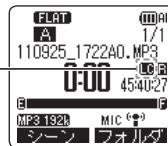
• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“Low Cut フィルタ”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“ON”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

手動で録音レベルを調整する（マニュアル録音レベル調整）

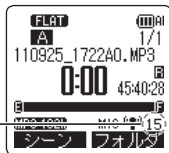
本機の録音レベル調整には自動と手動の設定があります。自動の場合､自動的に録音レベルを調整し､音割れや歪みを抑えることができます。楽器演奏や自然の音など原音の音量レベルを忠実に録音する場合などは、手動にしてください。（お買い上げ時は“自動”）

録音レベル調整を手動にする

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

1. [メニュー］を押す
2. ＋、－で“マイク録音設定”を選び、[▶ OK］で決定する
3. ＋、－で“録音レベル調整”を選び、[▶ OK］で決定する
4. ＋、－で“手動”を選び、[▶ OK］で決定する

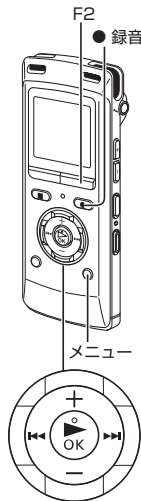
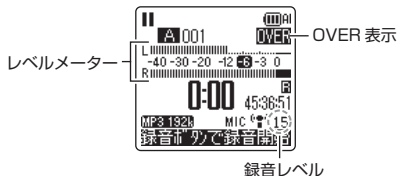
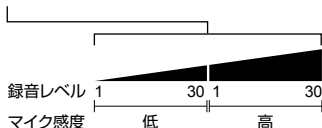
設定画面を閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

録音レベルが表示されます。

手動で録音レベルを調整する

・録音レベル調整を手動にしておく。（録音レベル調整が自動の場合は、録音スタンバイになりません。）

1. [● 録音］を約 1 秒以上押したままにする
   録音スタンバイになります。

2. 録音する音源にマイクを向ける
3. ⏮、⏭ で録音レベル（P29）を調整する
   0 から 30 の範囲で調整できます。
   （お買い上げ時は“15”）

[● 録音］を押すと録音を開始します。

● レベルメーターが振り切れて“OVER”が表示される場合は、録音レベルが高すぎます。音が最も大きくなった場合でも“-6”程度になるまで調整してください。
● 録音時の入力レベル（本機へ入力される音量）は、録音レベルとマイク感度の設定を組み合わせた内容になります。
入力レベルのイメージは以下のようになります。

● 録音レベル 0 の場合は無音が録音されます。
● 録音レベルは、録音中、録音一時停止中にも調整できます。
● 録音スタンバイ時に［メニュー］を押すと、マイク感度（P27）、Low Cut フィルタ（P27）、録音 EQ（P30）の設定ができます。

録音ピークリミッターを ON にする

録音レベル調整を手動にしている場合でも、過大な音量が入力されたときには録音レベルを自動調整し、音の歪みを抑えます。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

❷ +、−で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ +、−で“録音ピークリミッター”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ +、−で“ON”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

● 録音レベル調整が自動の場合は、上記設定に関わらず録音ピークリミッター機能が働きます。
● “OVER”は、録音ピークリミッターの設定に関わらず、レベルメーターが振り切れた場合に表示されます。

応用操作

録音 EQ を設定する

録音 EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の録音レベルを好みに応じた設定にして録音できます。
録音 EQ には、7 種類の固定モードと周波数帯別に録音レベルが設定できる「USER」モードがあります。

・録音レベル調整を手動にしておく。(P28)(録音レベル調整が自動の場合は、録音スタンバイになりません。)

❶ [● 録音] を約 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

❷ [メニュー] を押す

❸ +、−で“録音 EQ”を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−で録音 EQ モードを選ぶ

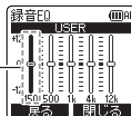
“USER”以外を選んだ場合は手順 ❺ へ進む

“USER”を選んだ場合の設定：

①手順 ❹ のあと、
[F1 (編集)] を押す

150 Hz 帯が選択されます。

②◀◀、▶▶ で変更したい周波数帯を選び、+、−で録音レベル (± 12 dB) を調整する

③変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 ❺ へ進む

❺ [▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

設定画面を消すと、EQ モード名は表示されません。

[● 録音] を押すと録音を開始します。

EQ モード	効果と用途
FLAT	特定の音域を強調しない (基本の) モードです。
EXTRA BASS	低音域をより強調します。
BASS	低音域をやや強調します。
MIDDLE	中音域を強調します。
BASS&TREBLE	低音域と高音域をやや強調します。
TREBLE	高音域をやや強調します。
EXTRA TREBLE	高音域をより強調します。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

(お買い上げ時は“FLAT”)

● 録音レベル調整が自動の場合、録音 EQ は機能しません。

● 手順 ❹ の画面で [F1 (確認)] を押すと詳細を確認できます。もう一度 [F1 (戻る)] を押すと元の画面に戻ります。

セルフタイマー録音

［● 録音］を押してから録音を開始するまでの時間を選択できます。楽器の練習など、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

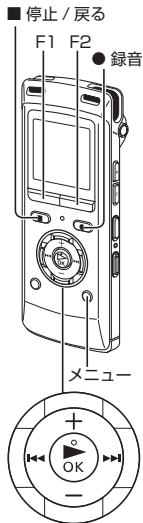
❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“セルフタイマー録音”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で時間を選び、［▶ OK］で決定する

セルフタイマー録音
OFF
5秒
10秒
30秒
ヘルプ 閉じる

（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

● ［● 録音］をポンと押すと、カウントダウンを開始し、設定した時間が経過したあと、録音を開始します。カウントダウン中は録音ランプが点滅します。
● セルフタイマーの時間を一度設定すると、セルフタイマーの設定を OFF にするか、設定初期化（P59）を行うまで、設定は保持されます。
● カウントダウン中に［● 録音］を押すと、すぐに録音を開始します。
● カウントダウン中に［■ 停止 / 戻る］を押すと、セルフタイマー録音を中止します。

無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）

VOS（Voice Operation System）を設定すると、マイク録音時、無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止し、音声を感知すると再び録音を開始します。

- 録音レベル調整を自動にしておく。（P28）
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“VOS 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“ON”を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

FLAT A 1/1 110925_1722A0.MP3 0:00 45:40:28 シーン フォルダ

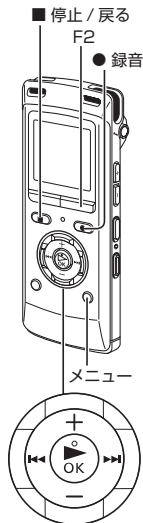
“VOS”が表示されます。

VOS 録音を開始するには［● 録音］を押す。

VOS 動作レベルの調整：

VOS 録音中に ⏮、⏭ を押します。
（お買い上げ時は“3”）

- 1 ～ 5 段階で調整できます。
- 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル)を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

- VOS 設定を ON にしても、録音レベル調整が手動の場合（P28)、VOS 録音になりません。
- 大切な録音をするときは、VOS 設定を OFF に設定してください。
- Low Cut フィルタを ON にすると低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを OFF にしてください。（P27）
- 無音状態で録音一時停止になると、“VOS”が点滅します。この録音一時停止中から［● 録音］を押すと通常の録音一時停止になり“VOS”が点灯になります。“VOS”点滅中、オートパワーオフ（P58）は機能しません。

過去録音機能

過去録音機能の待機状態から録音をスタートさせると約 5 秒前の音声から録音することができます。

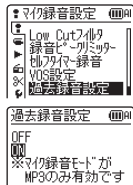
過去録音設定を ON にする

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“過去録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“ON”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

過去録音機能を使って録音する

録音モードが PCM の場合、過去録音機能は働きません。

・録音モードを MP3 にしておく。(P26)
・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［● 録音］を約 1 秒以上押したままにする
過去録音待機になります。
1、2、3、4、5 秒と変化し、5 秒で止まります。以降、約 5 秒前の音声から録音されるようにデータを蓄積しながら待機します。

❷ ［● 録音］を押す
録音ランプが点灯し、蓄積していた音声データに続けて録音を開始します。

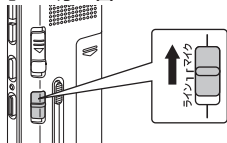
停止する：［■ 停止 / 戻る］を押す

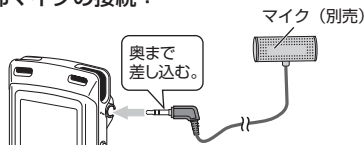
● 録音ボタンを押したときの操作音も録音されます。（内蔵マイク使用時など）
● 録音レベル調整（P28）を手動にしている場合、過去録音待機になると同時に録音スタンバイになります。
● ［メニュー］を押したり、停止操作などで過去録音待機画面が解除されたあと、再び待機状態にした場合は、その時点から新たに音声データの蓄積を行います。
● 録音一時停止中は、過去録音機能が働きません。
● 録音残り時間が約 10 秒未満の場合、過去録音機能は働きません。
● サウンドモニター中（P17）、過去録音の録音手順 ❶、❷ を行うと、過去録音を実行します。

外部マイクを接続して録音する

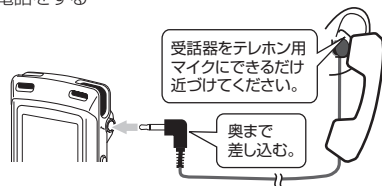
本機のマイク / ライン端子に外部マイクを接続して録音することができます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ライン / マイク切り替えスイッチを［マイク］に切り替える

❷ 外部マイクを接続する

外部マイクの接続：

プラグインパワーで φ3.5 mmミニプラグのマイクを使用してください。（推奨品：RP-VC201）

テレホン用マイクの接続：

①テレホン用マイクのプラグを本機のマイク / ライン端子に接続する
②テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
③電話をする

テレホン用マイク（別売）
（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

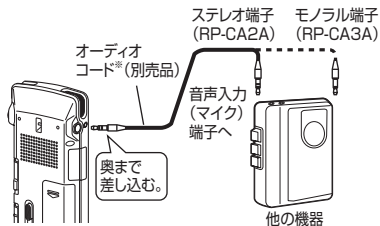
“EXT ” が表示されます。

❸［● 録音］を押して、録音を開始する

録音操作については、P12 をご覧ください。

● 接続する機器の説明書もお読みください。
● 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。
● 録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P27）
● 外部マイク端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
● テレホン用マイクなど、接続した外部マイクがモノラルの場合、片チャンネルしか録音されない場合があります。

本機から他機器へダビングする

❶ 本機のインサイドホン端子（🎧）と他機器の音声入力（マイク）端子を、オーディオコードで接続する

※推奨品
RP-CA2A：3.5 mm ステレオミニプラグ
- 3.5 mm ステレオミニプラグ（抵抗入り）
RP-CA3A：3.5 mm ステレオミニプラグ
- 3.5 mm モノラルミニプラグ（抵抗入り）

❷ 他機器の録音を開始する

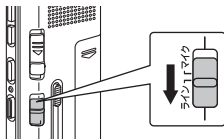
❸ ダビングしたいファイルを本機で再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。
- モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
- ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
- 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。
- 本機で FM ラジオを受信している場合は（P18）、FM ラジオを他機器で録音できます。

他機器を接続して本機に録音する

他機器を本機のマイク / ライン端子に接続して、“L”フォルダに録音します。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

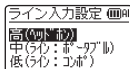
❶ ライン / マイク切り替えスイッチを［ライン］に切り替える

❷［メニュー］を押す

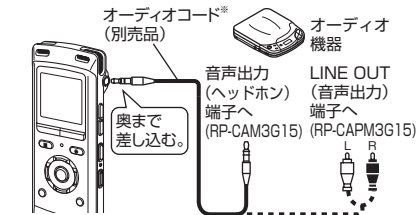
❸ +、−で“ライン録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ +、−で“ライン入力設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❺ +、−で入力レベル（高、中、低）を選び、［▶ OK］で決定する

ライン入力設定
高(ﾍｯﾄﾞﾎﾝ)
中(ﾗｲﾝ：ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙ)
低(ﾗｲﾝ：ｺﾝﾎﾟ)

他機器のヘッドホン端子と接続する場合は“高（ヘッドホン）”、ポータブル機器のライン出力端子と接続する場合は“中（ライン：ポータブル）”、コンポなどのライン出力端子と接続する場合は“低（ライン：コンポ）”、を選択してください。
（お買い上げ時は“高（ヘッドホン）”）

❻［F2（閉じる）］を押す

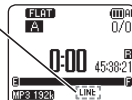
❼ 他機器を接続する

※推奨品
RP-CAM3G15：3.5 mm ステレオミニプラグ
- 3.5 mm ステレオミニプラグ
（抵抗なし）
RP-CAPM3G15：3.5 mm ステレオミニプラグ
- ピンプラグ× 2（抵抗なし）

他機器と接続し、ライン / マイク切り替えスイッチを［ライン］に切り替えると、選択したライン入力設定とライン録音モード（P38）が表示されます。

ライン入力設定表示

LINE：“高（ヘッドホン）”

LINE：“中（ライン：ポータブル）”

LINE：“低（ライン：コンポ）”

❽ ［● 録音］を約 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

❾ 他機器を再生させ、入出力レベルを調整する

①ライン入力設定をやり直す場合は、［メニュー］を押し、手順 ❹ ～ ❻ を行ってください。

②レベルメーターが振り切れて“OVER”が表示される場合は、他機器の音が大きすぎます。音が最も大きくなった場合でも“-6”程度になるまで他機器の音を調整してください。

③他機器の音源を頭出しして停止させます。

❿ ［● 録音］を押して、録音を開始する

⓫ 他機器を再生する

● 接続する機器の説明書もお読みください。
● 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。
● 録音中にオーディオコードを抜くと録音が停止します。
● 必要に応じてライン録音モードを変更してください。(P38)
● ライン入力した録音ファイルは、L フォルダに保存されます。

本機には以下のシンクロ録音機能があります。

曲間などの無音部分を利用して、1 曲目、2 曲目とファイルを分けて録音する機能です。他機器からの音を検知すると自動的に録音を開始し、約 2 秒以上の無音を検知すると録音を一時停止します。再び音を検知すると録音を再開します。

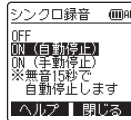
シンクロ録音の設定をする

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［メニュー］を押す

❷ ＋、－で“ライン録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“シンクロ録音”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で“ON（自動停止）”、または“ON（手動停止）”を選び、［▶ OK］で決定する

自動停止：無音が約 15 秒間続くと録音が自動停止する
手動停止：無音が続いても［■ 停止 / 戻る］を押すまで録音一時停止（待機）を続ける

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

応用操作

他機器を接続し、ライン / マイク切り替えスイッチを［ライン］に切り替えると、画面に“SYNC”が表示されます。

- 自動停止は、曲の間に約 2 秒以上の無音がある CD などからライン録音する場合に効果的です。
- 手動停止は、カセットテープの A 面から B 面への切り替えなどで 15 秒以上の無音が発生する場合に効果的です。
- P37 手順 8 の録音スタンバイのとき、［メニュー］を押してシンクロ録音の設定ができます。
- 曲の先頭が切れて録音される場合は、シンクロ録音を“OFF”にしてください。
- タイマー予約のライン録音の場合、シンクロ録音はできません。

シンクロ録音する :

・シンクロ録音の設定をしておく。

1 P36、37 手順 1 ～ 11 を行う

- 他機器のヘッドホン出力端子に接続している場合、シンクロ録音が正しく機能しないことがあります。
- 約 2 秒以上の無音を検出できない場合や、他機器との兼ね合いなどによっては、シンクロ録音ができない場合があります。

ライン録音モードを選択する

ライン録音時の音質を変更することができます。録音モードについては 26 ページを参照してください。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

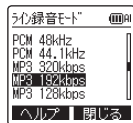
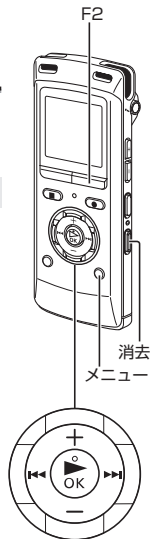
1 ［メニュー］を押す

2 ＋、－で“ライン録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

3 ＋、－で“ライン録音モード”を選び、［▶ OK］で決定する

4 ＋、－で設定（PCM サンプリング周波数 /MP3 ビットレート）を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“MP3 192kbps”）

ライン録音モード
PCM 48kHz
PCM 44.1kHz
MP3 320kbps
MP3 192kbps
MP3 128kbps
ヘルプ　閉じる

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

インデックス機能

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作（P14）でその位置にとび越すことができます。

MUSIC（M）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルには、インデックスを付けることができません。また、タイマー予約録音・再生中はインデックスを付けることができません。

インデックスを付ける

❶ 録音中や録音一時停止中、または再生中にインデックスを付けたい位置で［F2（インデックス)］を押す

"⚐"（点滅）と "インデックス記録中" が表示されます。

インデックスを付けたファイルには "⚐"（点灯）が表示されます。

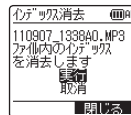
- インデックスは、
  - 1 ファイルにつき最大 36 箇所付けることができます。
  - ファイル消去や分割をすると消去されます。
  - 電池残量表示が "▭"（点滅）のときは、付けることができません。また、"▮" と "▭"（点滅）の境目では付けられないことがあります。
- 再生時、インデックスポイントの後ろ約 2 秒未満の位置で ⏮ をポンと押しても、そのポイントには止まりません。

インデックスを消去する

- インデックスを消去したいファイルを選んでおく。（P14）
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［消去］を押す

❷ ＋、－で、"インデックス" を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で "実行" を選び、［▶ OK］で決定する

インデックスが消去されます。

- インデックスを消去しても音声は消去されません。
- 1 つのファイルに複数のインデックスを付けた場合、それらを個別に消去することはできません。

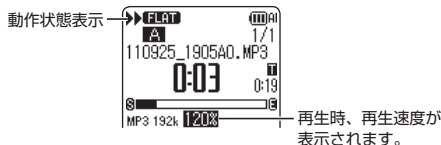
応用操作

再生速度を変更する

MP3 ファイルの再生速度を遅聞き（50%）から早聞き（200%）まで 21 段階で調整できます。（WMA ファイルの場合は、50%～ 120%までの 13 段階）

PCM ファイル再生時は速度を調整できません。
1 倍速（100%）再生となります。

❶ **再生中または停止中に［早聞き］、［遅聞き］を押す**

ボタンを押すたびに再生速度が変わります。

再生速度：

100%よりも速い場合は 10%ずつ、100%よりも遅い場合は 5%ずつ、再生速度を調整できます。

再生時の動作状態表示：

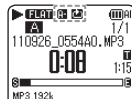
100%時は"▶"、100%よりも速い場合は"▶▶"、100%よりも遅い場合は"|▶"が表示されます。

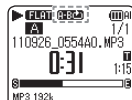
● フォルダ頭出し（P48）で再生時や、タイマー予約（P54）再生時は速度を調整できません。

A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

❶ **再生中に［A-B⟲/FM］を押す**

始点（A）が設定され"B"（点滅）と"A- ⟲"が表示されます。

❷ **終点（B）で［A-B⟲/FM］を押す**

"A-B⟲"（点灯）に変わり、A-B リピート再生が始まります。

A-B リピート再生を解除する：

再生中に［A-B⟲/FM］か ⏮、⏭、または［■ 停止 / 戻る］を押す。

● 始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート設定できません。
● 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。
● ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

位置を指定して再生(時間指定サーチ)

時間指定した位置から再生することができます。

・ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P8)

❶ [メニュー] を押す

再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ +、−で"▶再生設定"を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で"時間指定サーチ"を選び、[▶ OK] で決定する

❹ 再生開始位置を設定する

("指定時間"の数値を変更して開始位置を設定します。)

時間指定サーチ
指定時間 00:00:10
総時間 00:00:19
選択/変更
OK:決定
ヘルプ 閉じる

⏮、⏭で"00:00:00"(時間 : 分 : 秒)を選び、+、−で数値を変更します。

❺ [▶ OK] を押す

指定した位置から再生されます。

設定画面を途中で閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

● 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

少し戻る再生

再生中に少し戻って聞き直す機能です。語学学習や聞き逃しの場合に便利です。

❶ 再生中に [▶ OK] を押す

ボタンを押すたびに約 3 秒前(お買い上げ時)に戻って再生します。

戻る時間の設定 :

・ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P8)

❶ [メニュー] を押す

再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ +、−で"▶再生設定"を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で"少し戻る再生"を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−で戻る秒数 (1 〜 5 秒) を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は"3")

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

繰り返し再生（リピート設定）

• ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P8)

❶ **［メニュー］を押す**
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ **＋、－で“▶再生設定”を選び、［▶ OK］で決定する**

❸ **＋、－で“リピート設定”を選び、［▶ OK］で決定する**

❹ **＋、－でリピート再生の種類を選び、［▶ OK］で決定する**
（お買い上げ時は“OFF”）

リピート設定
OFF
1曲
フォルダ
フォルダ内ランダム
全曲
ヘルプ　閉じる

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

“”：“1 曲”
“”：“フォルダ”
“”：“フォルダ内ランダム”
“”：“全曲”
“”：“全曲ランダム”
“OFF”は何も表示されません。

リピートモード設定表示

OFF	1 つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまでを続けて再生します。終わると停止します。
1 曲	1 つのファイルを繰り返して再生します。
フォルダ	1 つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。
フォルダ内ランダム	1 つのフォルダ内のファイルを順不同で繰り返して再生します。
全曲	MUSIC（M）フォルダの場合、フォルダ内の全ファイル※ を繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、“フォルダ”と同じ動作になります。
全曲ランダム	MUSIC（M）フォルダの場合、フォルダ内の全ファイル※ を順不同で繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、“フォルダ内ランダム”と同じ動作になります。

※ 認識するファイル数は最大 3,000 ファイルです。

一定の間隔でスキップする（タイムスキップ）

再生時のスキップ操作（P14）で、設定された時間をとび越す機能です。
短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりするときに便利です。

F1　F2

メニュー

タイムスキップを行う

❶ 再生中に［F1（SKIP 切替)］を押す

タイムスキップモードに切り替わり“TS”が表示されます。

ボタンを押すたびにスキップモードが切り替わります。

ファイルスキップモードの場合は、通常のスキップ動作になります。（P14）

❷ ⏮、⏭ をポンと押す

ボタンを押すたびに 5 秒間隔（お買い上げ時）でスキップします。
再生を停止するとファイルスキップモードに戻ります。

スキップ間隔を変更する

• IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P8)

❶［メニュー］を押す

再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ ＋、－で“▶再生設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“タイムスキップ”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で時間を選び、［▶ OK］で決定する

スキップ間隔は、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分から選択できます。
（お買い上げ時は“5 秒”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

● 設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの先頭やインデックスポイントがある場合は、その位置にスキップします。
● ファイルの先頭や最後で ⏮、⏭ を押すとファイルをスキップします。

再生 EQ を設定する（サウンド EQ）

サウンド EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の音量レベルを好みに応じた設定にして再生できます。
サウンド EQ には、6 種類の固定モードと周波数帯別に音量レベルが設定できる「USER」モードがあります。

サウンド EQ は､ステレオインサイドホンで聞いているときのみ有効となります。

• IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P8)

1 ［メニュー］を押す

再生中の場合は手順 3 へ

2 ＋、－で“▶再生設定”を選び、［▶ OK］で決定する

3 ＋、－で“サウンド EQ”を選び、［▶ OK］で決定する

4 ＋、－でサウンド EQ モードを選ぶ

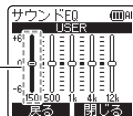
“USER”以外を選んだ場合は手順 5 へ進む

“USER”を選んだ場合の設定：

①手順 4 のあと、［F1（編集)］を押す

150 Hz 帯が選択されます。

②◀◀、▶▶ で変更したい周波数帯を選び、＋、－で音量レベル（± 6 dB）を調整する

③変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 5 へ進む

5 ［▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

設定したサウンド EQ モードが表示されます。

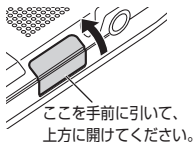
EQ モード	効果と用途
FLAT	サウンド EQ 機能を使わず、原音のまま再生します。
BASS	低音域を強調します。
CLEAR	高音域をより強調します。
HEAVY	低音域と高音域をやや強調します。
SOFT	中音域を強調します。
VOICE	雑音を軽減し人の声を聞きやすくします。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

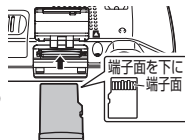
（お買い上げ時は“FLAT”）

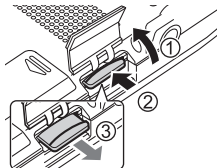
● 手順 4 の画面で［F1（確認)］を押すと詳細を確認できます。もう一度 [F1 (戻る)] を押すと元の画面に戻ります。

本機は、内蔵メモリーのほかに microSD/microSDHC カードを使用することができます。
新しい SD カードは本機でフォーマット（P59）してからお使いください。

SD カードを入れる

❶ 電源を切り、SD カード挿入部ふたを開ける

❷ SD カードを入れ、SD カード挿入部ふたを閉じる

SD カードの向き（▲）を合わせて「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

SD カードを取り出すときは：

①本機の電源を切り、SD カード挿入部ふたを開けます。
②SD カードを軽く押してください。
③SD カードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。

- 本機は、2 GB の microSD カード、および 4 GB ～ 16 GB の microSDHC カードに対応しています。（2011 年 6 月現在）
- SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/
- SD カードを入れているのにフォルダ選択画面などで“microSD”が表示されない場合は、本機が SD カードを認識していません。電源を切り、SD カードを入れ直してください。
- 停止中の画面で［F2（フォルダ)］を約 1 秒以上押したままにすると、内蔵メモリーと SD カードを切り替えることができます。

ファイル検索機能を使う

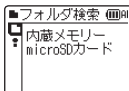
フォルダやファイルをリスト表示しますので、目的のファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

■ファイル検索の種類

カレンダー検索	録音ファイルを日付で絞り込んでリスト表示します。
マイク録音ファイル	マイク録音ファイルを日付の新しい順にリスト表示します。
ライン録音ファイル	録音されたライン録音ファイルを日付の新しい順にリスト表示します。
ラジオ録音ファイル	録音されたラジオ録音ファイルを日付の新しい順にリスト表示します。
放送局検索	ラジオ録音ファイルを録音元の放送局別にリスト表示します。
最近録音ファイル	録音ファイルを新しい順にリスト表示します。（20 件）
ゴミ箱検索	ゴミ箱 (🗑) フォルダ内のファイルのみリスト表示します。

ファイル検索を行う

❶ **IC レコーダーモードで停止中に［リスト⌕］を押す**

“micro SD カード” は SD カード挿入時のみ表示されます。

❷ **+、−で “録音ファイル検索” を選び、［▶ OK］で決定する**

❸ **+、−で検索の種類を選び、［▶ OK］で決定する**

“カレンダー検索” を選んだ場合：

+、−、⏮、⏭ で録音した日を選び、［▶ OK］で決定する

録音したファイルがある日付にのみカーソルが移動します。

“放送局検索” を選んだ場合：

+、−で放送局または周波数を選び、［▶ OK］で決定する

“ゴミ箱検索” を選んだ場合：

+、−で検索方法を選び、［▶ OK］で決定する

- 内蔵メモリーから最近消去したファイルを探すときは “最近消去順メモリー” を選んでください。

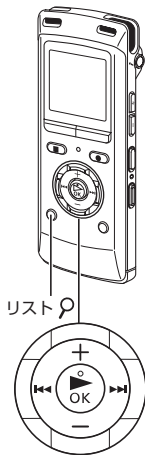
❹ **+、−でファイルを選び、［▶ OK］で決定する**

本機で音楽を聴く（WMA/MP3 音楽ファイル）

・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。（P68）

MUSIC（M）フォルダからファイルを選ぶ：

フォルダ選択の方法は P10、ファイル選択の方法については、P11、14 をご覧ください。

❶ ファイルを選び、[▶OK] を押す

ファイルに楽曲情報（ID3 タグなど）がある場合は、① タイトル ② アーティスト名 ③ アルバム名が表示されます。（タイトルがない場合はファイル名が表示され、アーティスト名やアルバム名がない場合は「UNKNOWN」と表示されます。）

再生操作については、P14 をご覧ください。

選択ファイルについて：
パソコン接続をすると本機での選択ファイルが変わります。（MUSIC フォルダ直下のファイルになります。）

- MUSIC フォルダでは、1 つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。
- WMA/MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ再生できます。
- 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
- ファイルによっては、再生速度を変更すると、A-B リピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
- 可変ビットレートの WMA/MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、A-B リピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
- ファイルの楽曲情報（ID3 タグなど）に本機で読み取れないデータがあると、曲名やアーティスト名などが正しく表示されないことがあります。
- ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。
- 再生経過時間が 100 時間以上になると、“時間 : 分 : 秒”の“時間”部分が点滅します。

・ID3 タグ：MP3 ファイルに格納される曲名などの情報
・MP3：MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種
・WMA：Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種
・可変ビットレート：音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

フォルダ頭出し機能

MUSIC(M) フォルダ内のファイル再生中に MUSIC フォルダ内のサブフォルダを簡単に切り替えることができる機能です。
PLAYLIST 再生中は、フォルダ頭出しはできません。

1 再生中に［F2（ 頭出し)］を押す

“フォルダ頭出し”が表示され、フォルダ頭出し表示 に変わります。

2 表示中に、⏮、⏭ を押す

- 前、または次のフォルダの 1 曲目を頭出しします。
- フォルダ頭出し表示中は、再生スピード変更や早送り / 早戻しができません。また、メニューボタンやリストボタンは働きません。

フォルダ頭出しを解除する：

下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。

- もう一度、［F2（ 頭出し)］を押す
- ［▶ OK］ボタンを押す
- ［■ 停止 / 戻る］を押す（再生が終了します。）

プレイリスト機能を使う

MUSIC（M）フォルダ内の曲をプレイリストに登録し、お好みの順番で再生することができます。

プレイリストにお気に入りの曲を登録する

1 “MUSIC（M)”フォルダを選ぶ（P10）

2 ＋、－で登録したいファイルまたはフォルダを選び、［F1（プレイリスト）］で決定する

フォルダを選ぶ、またはフォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P11）

3 ⏮、⏭ でプレイリストを選び、［▶ OK］で決定する（PLAYLIST1 ～ 5 から選びます）

選択したプレイリストにファイル、またはフォルダ内の全ファイルが登録されます

- プレイリストファイルは、“MUSIC”フォルダ内の“PLAYLIST”フォルダの中にあり“PLAYLIST1.M3U ～ PLAYLIST5.M3U”と表示されます。
- PLAYLIST1 ～ 5.M3U はパソコンで編集しないでください。
- 1 つのプレイリストにつき、99 ファイルの登録が可能です。

プレイリストに登録した曲を再生する

❶ プレイリスト（“P1” ～ “P5”）を選ぶ（P10）

❷ +、−で再生したいファイルを選び、[▶ OK] を押す

プレイリストの曲順を変更する

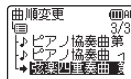
❶ プレイリスト（“P1” ～ “P5”）を選ぶ（P10）

❷ +、−で変更したいファイルを選び、[F1（編集)］を押す

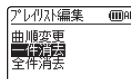
❸ +、−で“曲順変更”選び、[▶ OK］で決定する

選んだファイル名の左に“➡”が付きます。

❹ +、−で“➡”が付いているファイルを好みの位置に移動し、[▶ OK］で決定する

曲順が変更されます。

プレイリストに登録した曲を解除する

❶ プレイリスト（“P1” ～ “P5”）を選ぶ（P10）

❷ +、−で消去したいファイルを選び、[F1（編集)］を押す

❸ +、−で“一件消去”を選び、[▶ OK］で決定する

登録されている曲をすべて解除する場合：

+、−で“全件消去”を選び、
[▶ OK］で決定する

❹ +、−で“実行”選び、[▶ OK］で決定する

● プレイリストに登録したファイルを解除しても、登録元のファイルは消去されません。
● 登録元のファイルが消去されている場合、再生経過時間と総再生時間の表示が「-:--」となります。そのファイルを再生すると、約 2 秒で次のファイルにスキップします。
● 登録元のファイルを解除した場合は、プレイリストに登録したファイルも消去してください。

ファイル編集

編集設定を使って、本機で録音したファイルをいろいろな方法で編集することができます。

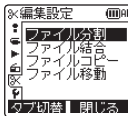
編集設定の設定方法

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ [メニュー] を押す

❷ +、−で "編集設定" を選び、[▶ OK] を押す

❸ +、−で編集する項目を選び、[▶ OK] を押す

[F1 (タブ切替)] を押すと他の設定画面に切り替わります。

・設定内容、変更方法については各項目で異なります。
ファイル分割 (右記)
ファイル結合 (P51)
ファイルコピー (P52)
ファイル移動 (P52)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

ファイルを分割する

1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。

❶ 再生中にファイルを分割したい位置で [■ 停止 / 戻る] を押す

❷ 左記「編集設定の設定方法」手順 ❸ で "ファイル分割" を選ぶ

❸ +、−で "実行" を選び、[▶ OK] で決定する

分割中は動作表示ランプが点滅します。

● MUSIC (M) フォルダやゴミ箱 (🗑) フォルダ内のファイルは、分割できません。
● ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
● ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
● 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
● ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。(P66)
● インデックスを付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。(P39)
● 内蔵メモリーや SD カードの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。

ファイルを結合する

本機で録音した2つのファイルを1つのファイルに結合することができます。

❶ P50「編集設定の設定方法」手順 ❸ で“ファイル結合”を選ぶ

❷ +、−で“前のファイル”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で結合元のファイルを選び、[▶ OK] で決定する

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P11）

❹ +、−で“後のファイル”を選び、[▶ OK] で決定する

❺ +、−で後ろに結合するファイルを選び、[▶ OK] で決定する

❻ +、−で“次へ”を選び、[▶ OK] で決定する

❼ +、−で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

結合中は動作表示ランプが点滅します。

- 結合完了までに [F2（キャンセル）] を押すと、結合を取り止めます。

- 結合したファイルは元に戻せません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- インデックスを付けたファイルを結合すると、インデックスは消去されます。
- 結合したファイルは、前のファイルが保存されていたフォルダに保存されます。

以下の場合は、結合できません。

- MUSIC (M) フォルダやゴミ箱 (🗑) フォルダ内のファイル
- 電池残量表示が、“▯”（点滅）または“▮”の場合
- 内蔵メモリーのファイルと SD カードのファイル結合
- 結合後のファイルサイズが合計 2 GB 以上になる場合
- 「後ろのファイル」のサイズ分以上の空き容量がない場合
- 録音元の放送局が異なるラジオ録音ファイルの場合
- 2 つのファイルの録音モード（ビットレート）やサンプリング周波数※（P80）が異なる場合

※ 録音するラジオ放送局によって録音モードが同じでも、サンプリング周波数が異なる場合があります。ファイルのサンプリング周波数は本機では表示されません。パソコンなどでファイル情報を見ると確認できます。

応用操作

ファイルをコピー / 移動する

内蔵メモリーと SD カードとの間で録音ファイルのコピーや移動ができます。マイク録音ファイルは、A、B、C、D フォルダ間でのコピーや移動もできます。

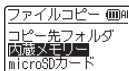
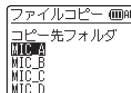
ファイルをコピーする

❶ P50「編集設定の設定方法」手順 ❸ で“ファイルコピー”を選ぶ

❷ +、−でコピーするファイルを選び、[▶ OK] で決定する

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P11）

- FM（FM_SD）や LINE（LINE_SD）フォルダ内のファイルをコピーするときは手順 ❺ へ

❸ +、−でコピー先（“内蔵メモリー”または“microSD カード”）を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−でコピー先のフォルダを選び、[▶ OK] で決定する

❺ +、−で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

コピー中は動作表示ランプが点滅します。

ファイルを移動する

ファイルの移動は、手順 ❶ で“ファイル移動”を選びます。

操作については、ファイルのコピーと同じです。

- コピー（移動）完了までに [F2（キャンセル）] を押すと、コピー（移動）を取り止めることができます。
- MUSIC（M）フォルダやゴミ箱フォルダ内のファイルは、コピー（移動）できません。
- 電池残量表示が、“▭”（点滅）または“▮”の場合は、コピー（移動）できません。
- コピー（移動）先に、コピー（移動）するファイル以上の空き容量がない場合は、コピー（移動）できません。（同じメモリーへの移動を除く）

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能 ON の状態でファイルを消去すると、ファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動します（MUSIC（M）フォルダを除く）。ゴミ箱フォルダのファイルは元のフォルダに戻すことができるため、間違って消去した場合でも安心です。
ゴミ箱機能を OFF にしてファイルを消去すると、ゴミ箱フォルダに移動せず完全に消去されます。（お買い上げ時：ON）

ゴミ箱フォルダのファイルを元のフォルダに戻す

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［F2（フォルダ）］を押す

❷ +、−、⏮、⏭ で“🗑”を選び、［▶ OK］で決定する

ゴミ箱フォルダは、内蔵メモリーと SD カードのそれぞれにあります。

❸ ⏮、⏭ で元に戻したいファイルを選び、［消去］で決定する

消去前に保存されていたフォルダ
消去前のファイル番号

❹ +、−で“1 件戻す”を選び、［▶ OK］で決定する

❺ +、−で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

動作表示ランプが点滅し、選択したファイルが元のフォルダの末尾に戻ります。
［▶ OK］を押すと、手順 ❸ の画面に戻ります。

● “＊がいっぱいです。ファイルを戻せません”と表示された場合は、＊フォルダが録音可能ファイル数（199）に達しています。そのフォルダ内のファイルを消去し、もう一度最初から操作してください。

ゴミ箱フォルダを空にする

ゴミ箱フォルダを空にすると、ゴミ箱内のファイルは完全に消去されます。必要なデータは、ゴミ箱フォルダを空にする前にパソコンや外部機器などに保存してください。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P8)

❶ ［消去］を押す

❷ +、−で“ゴミ箱を空にする”を選び、［▶ OK］で決定する

ゴミ箱フォルダ選択時は、手順 ❷ で“空にする”を選び、［▶ OK］で決定する。

❸ +、−で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

動作表示ランプが点滅し、ゴミ箱フォルダが空になります。

● ゴミ箱機能が ON のときは、ファイルを消去しても録音残り時間（空き容量）は増えません。録音残り時間を増やすためには、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にして、完全に消去してください。

タイマーを使う

設定した日時に録音を実行できます。またファイルを再生したり音を鳴らしてアラームとして使うこともできます。あらかじめ、時計を正しく設定しておいてください。(P9)

■ 停止 / 戻る

F2

メニュー

・[■ 停止 / 戻る] を押して、停止状態にしておく。

❶ [メニュー] を押す

❷ +、−で"共通設定"を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で"タイマー設定"を選び、[▶ OK] で決定する

❹ 日時、音源などの項目を設定する

項目の詳細については P55 をご覧ください。

①+、−で項目を選び、[▶ OK] で決定する。

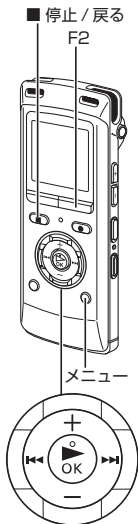
②+、−、⏮、⏭ で設定を選び、[▶ OK] で決定する。

①、②を繰り返し、設定します。

❺ +、−で"設定完了"を選び、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

● 必ず"設定完了"の操作を行ってください。この操作を行わないと、タイマーが正しく動作しません。途中で [メニュー] などを押すと"設定した内容で登録しますか ?"と表示される場合がありますので、"はい"、"いいえ"を選び、[▶ OK] で決定してください。

● タイマー予約実行時の音量は、タイマー予約設定時の音量となります。あらかじめ適切な音量に設定してから予約設定を行ってください。

設定項目	内容
設定	**OFF**：タイマー動作しません。 **ON**：タイマーを動作させます。
繰返し	**1 回**：1 回だけ、録音または再生します。 **毎日**：毎日、録音または再生します。 **曜日指定**：選択した曜日に毎回、録音または再生します。 ①＋、－で曜日を選び、[▶ OK] で□にチェックマークを入れる。（もう一度 [▶ OK] を押すと選択解除します。） ②曜日を選び終わったら“確定”を選び、[▶ OK] を押す。
時刻[※1]	**開始時刻と終了時刻の設定** ⏮、⏭ で項目（開始時、分、終了時、分）を選び、＋、－で設定する。 ● 開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。
動作	**再生**：設定した音源(またはアラーム音)を再生します。 **録音**：設定した音源を録音します。
再生元[※2]	**BEEP**：アラーム音を鳴らします。 **ファイル再生**：ファイルを再生します。 選択中のフォルダのファイルリストが表示されます。＋、－でファイルを選び [▶ OK] を押す。フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P11） **FM**[※5]：FM ラジオを受信します。

設定項目	内容
録音元[※3]	**MIC**：マイク録音します。 **LINE**：外部機器の音を録音します。 **FM**[※5]：FM ラジオを録音します。
音質[※3]	PCM：48kHz、44.1kHz MP3：320kbps、192kbps、128kbps、64kbps、32kbps
録音先[※3]	録音したファイルを保存するフォルダを選びます。 ● SD カードのフォルダを選んだときは、SD カードを入れてください。
出力[※4]	**OFF**：タイマー録音中に音声出力しません。 **ON**：タイマー録音中に音声出力します。

※1 開始時刻や終了時刻を設定する場合、AM（午前）と PM（午後）を間違えないようにしてください。AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。夜の 12 時にタイマー録音をする場合、開始時刻は「AM12:00」に設定してください。

※2 “動作”で“再生”を選んだ場合に表示されます。

※3 “動作”で“録音”を選んだ場合に表示されます。“録音元”が“FM”の場合、“音質”は表示されません。「MP3 128kbps」固定になります。

※4 “録音元”で“FM”を選んだ場合に表示されます。

※5 F Mを選んだ場合；

①＋、－でチャンネルまたは、周波数を選び、[▶OK] を押す。

②＋、－で受信したい放送局のチャンネル (CH) または周波数 (MHz) を選び、[▶OK] を押す。

■タイマーの予約状態や実行状況を確認するには

タイマー表示
0/0
0:00 45:39:09

◎：タイマー予約が設定されています。
タイマー実行中は表示が点滅します。

⊠：繰り返し設定が“1 回”のときに、タイマー録音に失敗すると表示されます。表示を消すには、設定を“OFF”にするか、再度タイマーを設定してください。

●：繰り返し設定が“毎日”または“曜日設定”のときに、タイマー録音に失敗すると表示されます。次回のタイマーが正常に動作すると、この表示は消えます。

- タイマー予約時刻が来ると、予約を実行します。実行前に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し※、終了時刻に電源が切れます。
  ※ 動作設定が“再生”の場合、少し遅れて FM ラジオの受信またはファイルの再生を開始します。
- 電源が入っているときに予約時刻が来た場合
  - タイマー再生の場合は実行されません。（IC レコーダーモードの停止中を除く）
  - タイマー録音は実行されます。ただし予約時刻に録音中だった場合はその動作を優先し、タイマー録音を実行しません。
- タイマー録音（再生）中は、停止および電源操作、音量調整以外の操作はできません。
- タイマー再生で再生するファイルを設定後、そのファイルを消去すると、タイマー開始時刻にアラーム音が約 30 秒間鳴ります。
- タイマー予約開始から終了までの時間より短い時間のファイルが指定されている場合、タイマー再生で設定した終了時刻より前にタイマー再生を停止します。（リピート設定が「OFF」以外に設定されている場合は、選んだファイルが 1 曲リピートで終了時刻まで再生されます。）
- 再生元をファイル再生に設定した場合、タイマー再生時の再生設定（サウンド EQ（P44）など）は、タイマー再生実行時点の設定で再生されます。タイマー再生時のリピート（P42）は設定内容に関わらず 1 曲リピートでの再生になります。（リピート設定 OFF 時を除く）
- 録音元を MIC や LINE に設定した場合、タイマー録音時の録音設定（マイク感度 (P27) やライン入力設定 (P36) など）はタイマー録音実行時点の設定で録音されます。（録音モード (P26) を除く）
- 時計設定がお買い上げ時の設定に戻った場合、タイマーの実行設定は自動的に OFF になります。
- タイマー録音開始時刻の 1 分前になると、録音ランプが点滅し、録音待機状態になります。

共通設定

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の設定方法

・[■ 停止 / 戻る］を押して、停止状態にしておく。

❶ [メニュー］を押す

❷ +、−で“共通設定”を選び、[▶ OK］で決定する

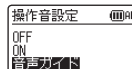
❸ +、−で設定項目を選び、[▶ OK］で決定する

❹ +、−で設定を変更し、[▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

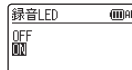
“時計設定”（P9)、“タイマー”（P54）については、それぞれのページをご覧ください。

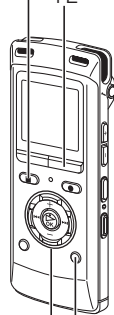
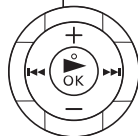
操作音設定

ボタン操作時の操作音を設定します。

OFF：操作音を鳴らさない　ON：操作音を鳴らす
音声ガイド：操作音と音声ガイドを鳴らす
（お買い上げ時は“音声ガイド”）

● “ON”または“音声ガイド”を選択した場合は、+、−で音量を選び、[▶ OK] で決定します。（お買い上げ時は“音量中”）

録音 LED（録音ランプ）

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。

OFF：点灯させない　ON：点灯させる
（お買い上げ時は“ON”）

● 録音 LED を OFF に設定しても、充電中やファイル編集時などの動作表示ランプとしては点灯（点滅）します。

電池切換

使用する電池の種類（アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電式電池）を設定します。

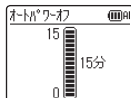
電池切換
充電式電池
アルカリ乾電池

電池の種類
Ni：充電式電池
Al：アルカリ乾電池

電池の種類：充電式電池、アルカリ乾電池
（お買い上げ時は“アルカリ乾電池”）

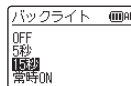
- 電池切換を“充電式電池”に設定しないと充電できません。
- 設定と異なる種類の電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

オートパワーオフ

録音一時停止中や停止状態で一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

オートパワーオフ：0 分（OFF）～ 15 分
（お買い上げ時は“15 分”）

- 1 分単位で設定できます。
- OFF に設定するとオートパワーオフ機能は働きません。

バックライト

ボタンを押したときのバックライトの点灯時間を設定します。

点灯時間：OFF（点灯しない）、5 秒、15 秒、常時 ON
（お買い上げ時は“15 秒”）

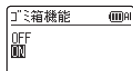
- 電池残量が少ないと、バックライトが点灯しない場合があります。
- 以下の場合はバックライトが点灯しません。
  - ・FM ラジオ録音中
  - ・ファイル移動、コピー、結合を実行中

コントラスト

画面のコントラストを調整します。
調整は 10 段階で設定できます。

表示調整：1（淡）～ 10（濃）
（お買い上げ時は“5”）

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を使うと、消去したファイルはゴミ箱に移動されます。ゴミ箱を空にするまでは、消去したファイルを元に戻すことができるので、誤って消去した場合にも安心です。

OFF：ゴミ箱機能を使わない
ON：ゴミ箱機能を使う
（お買い上げ時は“ON”）

● ゴミ箱機能が“OFF”のときは、一度消去したファイルを元に戻すことはできません。

設定初期化

本機の設定を初期化すると、設定（時計設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。
“実行”を選んで、[▶OK] で決定すると実行します。

フォーマット

内蔵メモリー、または SD カード内の全ファイルを完全に消去します。消去したファイルは元に戻すことができません。

① “内蔵メモリー”または“microSD カード”を選び、[▶ OK] で決定する。

フォーマット
内蔵メモリー
microSDカード

② “実行”を選び、[▶ OK] で決定する。

● フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
● フォーマットするとゴミ箱内のファイルも削除され、元に戻すことはできません。
● フォーマット中は、取り消しができません。
● フォーマット中は、電池や SD カードを抜かないでください。
● 新しい SD カードは、まず本機でフォーマットしてからお使いください。

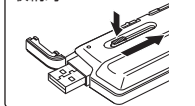
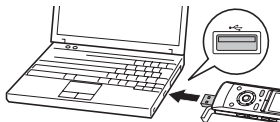
バージョン

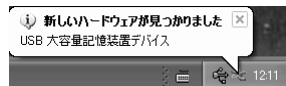
本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。

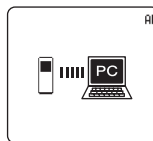
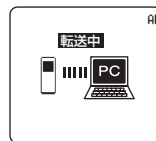
本機をパソコンに接続する

本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込めます。
● 動作環境の詳細については、P69 をご覧ください。

- パソコンを起動させておく。
- 本機の電源を切っておく。

❶ 本機の USB 端子を出す

❷ 本機をパソコンの USB ポートに接続する

USB 端子の向きを合わせてまっすぐ挿入する。

● 初めて接続した場合、パソコンに図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。表示は Windows XP（OS）の場合です。

● パソコンに接続中の画面の表示

接続時

通信時

● パソコン接続中は、本機の操作はできません。
● 本機とパソコンを直接接続できない場合は、別売のUSB 延長ケーブル(RP-CUMB20)をご使用ください。
● 本機に電池がなくても、パソコンに接続できます。
● 本機とパソコンを接続していると､パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動(再起動)するときは、本機の USB 端子を抜いておくことをおすすめします。
● 次の場合は、動作を保証しません。
 ・1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）
 ・USB ハブを使用している場合
 ・別売の RP-CUMB20 以外の USB 延長ケーブルを使用している場合
● 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
● パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows XP: [ ]、Windows Vista/Windows 7: [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OSの設定によっては表示されません。)
取り外したあとは、本機の電源が切れます。
本機のファイルをパソコンで削除などしたあと、本機の電源を入れると“ファイル名を更新しています”と表示されます。更新の完了までに数分かかる場合があります。

■USB マスストレージ機能

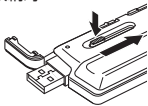
本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。
パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

・OS：パソコンの基本ソフトウェア（Windows XP など）
・ダブルクリック：マウスの主ボタンを 2 回連続で押すこと
・マウス：パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

USB 電源で使う

パソコンの USB 端子から電源を供給して本機を動作させることができます。

・パソコンを起動させておく。
・本機の電源を切っておく。

❶ 本機の USB 端子を出す

❷ 本機の [■ 停止 / 戻る] を押しながら、本機をパソコンの USB ポートに接続する

USB 電源で起動します。

■本機を取り外すには

必ず本機の電源を切ってから、取り外してください。

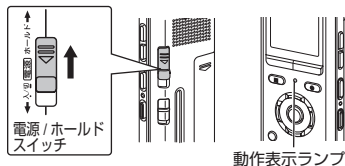
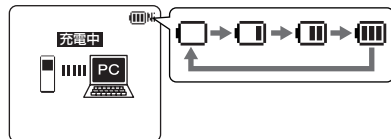
● USB 電源での連続録音時間は、1 ファイルにつき最大約 24 時間です。ただし、録音中のファイルサイズが 2 GB を超えた場合は、2 GB で録音を停止し、その後、新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの約 2 秒間は、録音されません。
● 録音データの記録中などのときは、**絶対に本機を取り外さないでください。**データや本機が壊れる可能性があります。
● USB 電源で使用する場合は、外部ノイズの影響を受けやすいので、FM ラジオの受信や録音の際にノイズが入る場合があります。この場合は、電池でのご使用をおすすめします。
● USB 電源で使用中は、オートパワーオフ機能が働きません。(P58)

充電する

別売の充電式電池をご使用の場合は、本機とパソコンを使って充電することができます。
電池残量が空の場合、満充電には約 2 時間かかります。
指定の充電式電池：HHR-4AG/2B（2 本組のうち、1 本をご使用ください。）

- パソコンを起動させておく。
- **「電池切換」を「充電式電池」に切り換えておく。（P58）**
- 本機の電源を切っておく。（P8）

❶ P60 手順 ❶、❷ を行う

❷ 電源 / ホールドスイッチを［ホールド］側にスライドさせる

動作表示ランプが点灯し、充電が始まります。
また、本機の表示部に“充電中”が表示され、電池残量表示が下記のように切り替わります。

- 充電中、電源 / ホールドスイッチを元の位置に戻すと充電を中断できます。
- 動作表示ランプが消灯すると、充電完了です。パソコンからの取り外しは、61 ページを参照してください。

● 電池切換を“充電式電池”に設定しないと充電できません。
● 充電は必ず指定の充電式電池（別売品）をお使いください。指定品以外の電池では動作保証しておりません。また、アルカリ乾電池などは充電できません。
● 充電が開始されない場合は、ホールドを一度解除してから、再度ホールド状態にしてみてください。
● 本機の温度が上がっているか、指定外の充電式電池などが入っている場合、“✕”が表示されます。（P74）
● パソコンが休止状態になったり再起動したりしたときは、充電しない場合があります。
● データ転送中でも充電できます。
● 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
● 充電中、本機や充電式電池が熱くなることがありますが異常ではありません。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

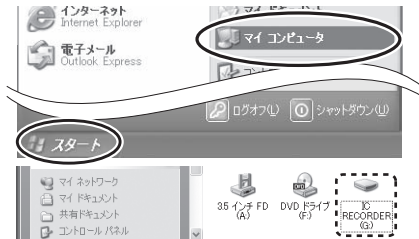
本機のフォルダを開く

表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

・本機をパソコンに接続しておく。（P60）

1.「スタート」から「マイ コンピュータ」を指定して右クリックから「開く（O)」を選ぶ

本機の内蔵メモリー、SD カードが下記の名前で表示されます。
内蔵メモリー：IC RECORDER※1
SD カード：IC REC SD※2

※1 パソコンによっては「リムーバブルディスク」と表示される場合があります。
※2 SD カードが入っていない場合や、本機でフォーマットされていない SD カードが入っている場合は、「リムーバブルディスク」と表示されます。

2. 内蔵メモリー、または SD カードを指定して右クリックから開く（本機のフォルダ構造について：P67）

3. フォルダを指定して右クリックから開く

本機のファイルが表示されます。

● パソコンの設定によっては、拡張子が“.INX”のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報は消去されます。

ファイルをパソコンに取り込む・整理する

・本機をパソコンに接続しておく。（P60）

録音ファイルをパソコンに取り込む

1. 本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. パソコン内のフォルダなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む

本機のフォルダ　　　パソコンのフォルダ

録音ファイルをパソコンで再生する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

フォルダ名を変更しないでください

パソコンで本機および SD カードのフォルダ名（“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、FM、MUSIC” など）を変更すると、次に本機の電源を入れた時点で、新たに“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、FM、MUSIC”フォルダが生成され、名前を変更したフォルダ内のファイルは再生対象外になります。

- 「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- **パソコンで、本機および SD カードをフォーマットしないでください。**
- パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、MP3 録音ファイルが“MP3”で、PCM 録音ファイルは“WAV”になります。
- “DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。

・WAV：ファイル格納のフォーマットで複数のファイル形式に対応。本機では PCM ファイルを WAV フォーマットで格納しています。

・右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと

ファイル名について

本機で録音する際のファイル名の付けかた：

例：2011年9月20日17時20分/Aフォルダ/MP3録音の場合

001_110920_1720A0.MP3

① ファイル番号（001 ～ 199）
② 録音日付（半角数字6文字）
③ 録音時刻（半角数字4文字）
④ フォルダ名（A ～ D、L、F※）
※ FMフォルダは“F”になります。
⑤ キーワード番号（本機では0）
⑥ ファイル拡張子（.MP3/.WAV）

“_”（半角）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では“001_”は表示されず“110920_1720A0.MP3”となります。

ファイル削除やファイル編集によるファイル名の自動変更：

本機内の録音ファイルを削除 / 結合すると、ファイルが前詰めされ、ファイル番号が自動的に再割り当てされます。

例：“002_110925_0905A0.MP3”を削除の場合

削除前		削除後
001_110920_1720A0.MP3		001_110920_1720A0.MP3
002_110925_0905A0.MP3		002_111003_1233A0.MP3
003_111003_1233A0.MP3	⇨	003_111231_1915A0.MP3
004_111231_1915A0.MP3		

削除 / 結合ファイル以降の、すべてのファイル名のファイル番号部分が変更されます。

ファイル分割やコピーなどをするとファイルが増えます。増えたファイル以降のファイル番号は自動的に後ろにずれ、ファイル名のファイル番号部分が変更されます。

パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻すには：

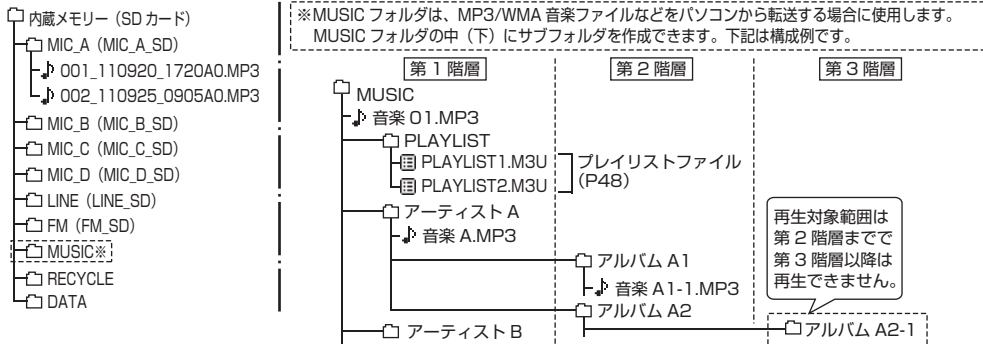
パソコンに取り込んだファイルを本機の元のフォルダに戻すと本機で再生できます。（ファイル名を変更している場合は再生できません。）
ただし、ファイル削除などで本機内のファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、MUSICフォルダに転送して再生することをおすすめします。（P68）

MUSICフォルダ内のファイル名と再生順序：

MUSICフォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は3ケタまで判別することができます。1、01、001のように付けかたが違う場合、001 ～ 999が最も優先され、次に01 ～ 99で、その次が1 ～ 9となります。001音楽A.MP3、002音楽B.MP3のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。
MUSICフォルダへのファイル転送についてはP68を、再生についてはP47をご覧ください。

本機のフォルダ構造

“A、B、C、D、L、FM、M”フォルダは、パソコンや本機のリスト画面では、“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、FM、MUSIC”（内蔵メモリーの場合）と表示されます。“DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。

本機のフォルダ階層：

■RECYCLE フォルダ

ゴミ箱です。ゴミ箱機能が“ON”のとき、消去した録音ファイルは RECYCLE フォルダ（ゴミ箱）に移動します。

- MUSIC（M）フォルダのファイルは、ゴミ箱機能の設定に関わらず、ゴミ箱に移動されずに本機から完全に消去されます。
- ゴミ箱に移動したファイルは、ゴミ箱に移動した順序を示す“001_”などの番号がファイル名の先頭に追加されます。この番号はパソコンでのみ表示されます。

本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。
本機で再生できる音楽ファイルは MP3、WMA、または PCM（WAV）※ファイルです。
※ 本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ。

パソコンから本機に音楽ファイルを転送する

・本機の MUSIC フォルダを開いておく。（P64）

1. **転送したい音楽ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ**
2. **本機の MUSIC フォルダを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、転送する**

本機では、1つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

- 「ドラッグ＆ドロップ」でも音楽ファイルを本機に取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- MUSIC フォルダの中にサブフォルダを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については、P67 をご覧ください。
- 音楽ファイルを MUSIC フォルダ以外に入れても再生できません。（ファイル名が表示されません。）
- MUSIC フォルダ内のファイルの再生順序は、本機にフォルダやファイルが転送された順番になります。（複数のファイルを一度に転送する場合、パソコンが決めた順番で転送されます。）ただし、ファイル名の先頭に数字が付いている場合は、その数字に基づいて再生順序が決まります。（P66）

■DRM 付き WMA ファイルの転送について

本機は PD-DRM に対応しています。
音楽配信サイトで購入したり、CD から取り込んだ DRM 付き WMA ファイルは、ポータブルデバイス（本機）などへの転送が制限されている場合があります。

- 音楽ファイルの転送には、Windows Media Player を使ってください。
- DRM10 には対応していません。

パソコンの動作環境

(2011 年 6 月現在)

<table>
<tr><td>対応パソコン</td><td colspan="2">IBM PC/AT 互換機、Macintosh</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応 OS</td><td>• Windows® XP Home Edition/Professional および SP2、3
• Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および SP1、2
• Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および SP1</td><td>プリインストールされた各日本語版</td></tr>
<tr><td colspan="2">• Mac OS X 10.2.8 − 10.6</td></tr>
<tr><td>インターフェース</td><td colspan="2">USB 端子（USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。）</td></tr>
<tr><td colspan="3">※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。
※ 本機で録音したファイルは、当社製 TRC、ADPCM 形式での IC レコーダーで再生することはできません。また、本機で録音した MP3 ファイルは、TRC、ADPCM 形式の IC レコーダーに付属のパソコンソフト（Voice Editing）で読み込むことはできません。
※ 本機で録音した内容は、専用ソフトを使わずにパソコンへ転送できます。本機には、パソコンソフト（Voice Editing）は付属していません。</td></tr>
</table>

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	• MP3 および PCM 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、MUSIC フォルダに転送する（P68）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。
他のパナソニック製 IC レコーダー（RR-US470 など）に付属している音声編集ソフト（Voice Editing）は使用できますか？	• PCM モードで録音した WAV ファイルは使用できます。MP3 モードで録音した MP3 ファイルは使用できません。
どんなファイルが再生できますか？	• MP3、WMA ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。AAC など、その他のファイルは再生できません。

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
• 再生するファイルがありません • ファイルがありません	• フォルダ内にファイルがないときに再生や時間指定サーチ（P41）、またはファイル消去（P16）などをしようとした場合に表示されます。
microSD カードを挿入してください	• SD カードが入っていない状態でフォーマットしようとした場合に表示されます。 • FM または LINE フォルダ内でファイルコピーやファイル移動を実行時、SD カードが挿入されていない場合に表示されます。（P45）
microSD カードが正しく認識されません 再挿入してください	• SD カードの認識に失敗した場合（P45）や、SD カードが壊れている場合に表示されます。再度挿入してください。
内蔵メモリーの読み込みに失敗しました	• 本機でフォーマットしてください。それでも改善しない場合は内蔵メモリーが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。（P59）
このファイルは可変速再生できません	• PCM ファイル再生時に再生スピードの変更をしようとした場合や、再生スピードの変更をした状態で PCM ファイルを再生した場合に表示されます。（P40）

こんな表示が出たら（つづき）

表示	ここをご確認ください
メモリーがいっぱいです	• 内蔵メモリーや SD カードに空き容量がない状態で録音しようとした場合に表示されます。 • ファイル結合する際、後ろのファイル以上の空き容量がない状態で結合しようとした場合に表示されます。（P51）
ファイルがいっぱいです	• 各フォルダの録音可能なファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P10）
インデックスがいっぱいです	• 1 ファイルのインデックス記録可能数（36）を超えてインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P39）
インデックス記録できません	• インデックスを同じ位置に記録しようとした場合に表示されます。 • 電池残量表示が“ ”（点滅）のときにインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P39）
このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	• フォルダ内のファイル数が最大（199）になっているため、ファイル分割できません。不要なファイルを消去してから分割してください。（P16）
ファイル分割に必要な空き容量が足りません	• ファイル分割するために必要な空き容量がない状態で分割操作をした場合に表示されます。不要なファイルを消去してから分割してください。（P16）
• 内蔵メモリー書き込み速度が遅いです **• microSD カード書込み速度が遅いです**	• 書き込み速度の遅い SD カードや、断片化※により一時的に書き込み速度が遅くなっている内蔵メモリー、または SD カードを使用して録音を行った場合に表示されることがあります。録音モードを MP3 に変更すると改善される場合があります。断片化を改善するには、必要なファイルをパソコンや外部機器に保存したうえで、本機で内蔵メモリー、または SD カードをフォーマットしてください。（P59）

※ ファイルの書き込みと削除を繰り返し行うとメモリー内でのファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなることがあります（断片化といいます）。断片化が著しく進むとファイルの書き込み速度が遅くなり、正常に書き込めなくなることがあります。

表示	ここをご確認ください
録音時間が短いため分割できません	• 録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとした場合に表示されます。
現在の停止位置ではファイルを分割できません	• ファイル分割できない位置（ファイルの先頭や末尾付近）で分割操作した場合に表示されます。（P50）
合計サイズが 2GB を超えるため結合できません	• 結合するファイルの合計サイズが 2 GB を超える場合に表示されます。（P51）
ファイル形式が異なるため結合できません	• FM ラジオを録音したファイルと、それ以外の MP3 録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。（P51） • 放送局の異なるラジオ録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。（P51）
ファイル形式の録音音質が異なります結合できません	• 録音モードが異なるファイルを結合しようとした場合に表示されます。（P51）
• 電池の残量が足りません *** する場合は新しい電池と交換してください • 電池の残量が足りません *** する場合は電池を充電してください	• 電池残量表示が“ ”（点滅）または“ ”のときにファイルコピーや結合、移動などをしようとした場合に表示されます。（P7）
コピー / 移動先のファイルがいっぱいです	• コピー / 移動先フォルダ内のファイルが最大数（199）に達しているためファイルコピー / 移動できません。コピー / 移動先フォルダ内のファイルを削除するか、別のフォルダをコピー / 移動先に指定してください。
ゴミ箱がいっぱいです空にしてください	• ゴミ箱フォルダ内のファイルが最大数（199）ある状態でファイルやフォルダの消去操作を行い、これ以上ゴミ箱（ ）へ移せない場合に表示されます。（P53）
＊がいっぱいですファイルを戻せません	• ゴミ箱（ ）からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）（P53）

表示	ここをご確認ください
ファイルをゴミ箱に移せません 空にしてください	• SD カードの空き容量がないため表示される場合があります。（P53）
フォーマットできませんでした	• 内蔵メモリー (SD カード）が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
プリセットモードでチャンネル選択し削除してください	• マニュアル選局モードでプリセット編集（削除）しようとした場合に表示されます。（P21）
このプレイリストにこれ以上ファイルを登録できません	• 各プレイリストに登録可能なファイル数（99）を超えて登録しようとした場合に表示されます。（P48）
全てのファイルをプレイリストへ追加できませんでした	• 複数ファイルをプレイリストへ登録中に登録可能なファイル数（99）を超えたため、すべてのファイルが登録できなかった場合に表示されます。（P48）
ファイルがないためプレイリスト操作できません	• 選択したプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）にファイルが登録されていないため、プレイリストの編集操作ができません。（P48）
*** できません フォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください	• ファイル名、またはフォルダ名に対応していない文字列（日本語・英語以外の文字など）が含まれているため、プレイリストに追加できません。
タイマー録音するために microSD カードを挿入してください	• タイマー予約設定完了時に SD カードが挿入されていない場合に表示されます。
タイマー動作が実行できませんでした	• タイマー予約実行時に、SD カードが挿入されていない場合や録音中の場合など、タイマー予約の実行を失敗した場合に表示されます。
全曲モードの再生範囲外のファイルです *** できません (最大 3,000 曲)	• MUSIC ファイルの全曲リピート(ランダム)での再生範囲(最大 3,000 ファイル）以降のファイルを選択しようとした場合や、3,000 ファイル以降のファイルを選択中に、全曲リピート（ランダム）設定しようとした場合に表示されます。（P42）

「***」は、操作などによって表示が異なります。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
電池	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	・本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
	充電しても再生時間が短い	・充電式電池の寿命です（充電回数の目安は約 300 回）。新しい指定の充電式電池（別売品）に交換してください。
	• 充電すると“✕”が表示される • 充電ができない	・本機の温度が上がっています。本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから充電し直してください。 ・単 4 形アルカリ乾電池や指定外の充電式電池を充電しようとしていませんか？指定の充電式電池（別売品）を入れて充電してください。（P63） ・充電式電池が正しく入っていません。一度電池を完全に取り出してから、電池を正常に入れ直してください。（P7） ・電池切換の設定がアルカリ乾電池になっていませんか？設定を充電式電池に切り換えてから充電してください。（P58）
操作	本機が動作しない	・電池が外れていませんか？一度電池を完全に取り出してから、電池を正常に入れ直してください。 ・電池が消耗していませんか？単 4 形アルカリ乾電池をご使用の場合は、新しい電池に交換してください。指定の充電式電池（別売品）をお使いの場合は、充電してください。(P7、63)
	操作ができない	・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください（P8） ・パソコン接続時は本機では操作できません。

	こんなときは	ここをご確認ください
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	• 録音モードによって録音可能時間は大きく変わります。（P81）ご使用の目的に応じて録音モードを選んでください。（P26） • データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。
	録音が勝手に一時停止する	• VOS が働いていませんか？（P32）
	録音時にインサイドホンで音声を聴くと、「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。（P15、17） • インサイドホンと本機を離してください。（P15、17） • 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	• 録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 • メモリーを使い切っていませんか？
	録音したファイルに音とびが発生する	• パソコンで本機の内蔵メモリーや SD カード（別売品）をフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P59） • SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。 • 当社基準において動作確認済みのカードについては、当社サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/ • VOS が働いていませんか？（P32）
	録音した音声にガサガサと雑音が入る	• 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	• マイク感度設定を「感度 : 低」にするか、または録音音源からの距離を遠ざけてください。(P27) それでも音割れする場合は、Low Cut フィルタ設定を ON(P27)、録音レベル調整の設定を手動にし、録音レベルを調整して録音してください。 (P28)

	こんなときは	ここをご確認ください
録音	録音した音声に雑音がまざって聞きとりにくい	・本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 ・Low Cut フィルタを ON にしてください。雑音が減り、聞きやすくなる場合があります。（P27） ・録音モード（P26）やマイク感度（P27）を切り替えてみてください。 ・（FM ラジオ録音時）ステレオ / モノラル切替をモノラルに切り替えてみてください。また、インサイドホンのコードをしっかりと伸ばして受信状態を改善してみてください。
	録音した音声が実際と異なる	・録音 EQ（P30）や Low Cut フィルタ（P27）が設定されていませんか？
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	・録音レベル調整が手動になっていませんか？（P28）手動の場合は録音レベルを正しく調整するか（P29)、録音レベルを「自動」にしてください。 ・マイク感度を切り替えてみてください。（P27）
	録音しているのにレベルメーターが動かない、録音したファイルが無音になる	・録音レベル調整が「手動」で、録音レベルが「0」になっていませんか？録音レベルを調整してください。(P29)
再生	スピーカーから音が出ない	・インサイドホンを接続していませんか？（P15）
	音声が聞こえない	・音量を調整してください。（P14）
	フォルダ内（A、B、C、D、L、FM、🗑）のファイルが再生できない	・パソコンでファイル名を変更していませんか？ A、B、C、D、L、FM、🗑フォルダ内ではファイル名の付けかたに従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。（P66）MUSIC（M）フォルダに転送すると再生できます。（P68） ・転送先が異なっていませんか？パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。MUSIC（M）フォルダに転送してください。（P68）

こんなときは		ここをご確認ください
再生	MUSIC (M) フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	・本機では MP3、WMA ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。AAC など、その他のファイルは再生できません。 ・MUSIC フォルダでは、 1 つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。 ・著作権保護されているファイルは、エクスプローラーで転送しても再生できません。Windows Media Player で転送してください。（P68） ・プレイリスト登録後にファイルが消去されていませんか？ MUSIC（M）フォルダにそのファイルを転送するか、プレイリストからそのファイル名を消去してください。(P49)
	再生速度が速かったり、遅かったりする	・再生速度を変更していませんか？（P40）
	再生速度を設定したが、1 倍速で再生される	・PCM ファイル再生時は速度を調整できません。MP3 ファイル再生時に速度を調整しても、PCM ファイル再生時は 1 倍速になります。（P40）
	インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？（プラグをきれいにふいてください。）
	選択ファイルが勝手に変わる “再生するファイルがありません”と表示される	・パソコン接続をすると本機での選択ファイルが変わります。MUSIC フォルダの場合、MUSIC フォルダ直下のファイルが選択され、ファイルがない場合は“再生するファイルがありません”と表示されます。ファイルを選択し直してください。

こんなときは		ここをご確認ください
タイマー	タイマー予約が正常に動作しない （タイマー録音ができていなかった）	・正しい日時で時計設定を行ってください。(P9) ・録音先のフォルダがいっぱいになっていませんか？不要なファイルを消去してください。(P16) ・電池が消耗していませんか？新しい電池と交換してください。（P7）充電式電池をお使いの場合は、充電してください。(P63) ・メモリーの空き容量はありますか？不要なファイルを消去してください。(P16) ・パソコンなどに接続していませんか？パソコンから取り外してください。 ・タイマー再生時刻になっても本機を使用していると現操作が優先されます。（停止中を除く）操作を中止してください。 ・タイマー録音開始時刻に他の録音をしていると現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。
FMラジオ	FM ラジオの雑音が多く聴きづらい	・近くにノイズ源（テレビやモーター、電気器具など）がありませんか？設置場所を変えてみてください。 ・周波数がずれていませんか？　周波数を調整してください。(P18)
	FM ラジオが受信できない	・インサイドホン端子に付属のステレオインサイドホンを差し込んでください。(P18)
その他	電源が入らない	・電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。（P7）充電式電池をお使いの場合は、充電してください。（P63）
	電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能（停止や録音一時停止で一定時間 ※ 操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P58） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
	SD カードが認識されない	・SD カードが正しく挿入されていますか？本機の電源を切り、SD カードを入れ直してください。（P45） ・SD カードをパソコンなどでフォーマットしていませんか？本機でフォーマットし直してください。（P59）

こんなときは		ここをご確認ください
その他	ファイル、フォルダが消去できない	• パソコンから転送した MP3 や WMA 音楽ファイルが読み取り専用の場合や MUSIC フォルダ内にサブフォルダを作成された場合、本機では消去できません。パソコンで消去してください。(P65)
	ファイルを消去したのに空き容量が増えない	• ゴミ箱フォルダを空にしてください。(P53)
	ファイル分割ができない	• メモリーの空き容量はありますか？ • フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 • ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	• パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P69） • パソコンと本機を正しく接続してください。(P60) • パソコンから本機を外し、再接続してください。 • 接続されているほかの USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。パソコンに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続してください。 • USB ハブを経由して接続していませんか？ ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接本機を接続してください。 • ネットワークドライブが割り当てられていませんか？ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名のアルファベット）がぶつかり、本機のドライブ名が見えない場合がありますので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから接続し直してください。
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	• 時計を合わせてください。(P9)
	日時が正しく表示されない	• 電池を抜いた、または電池切れになってから長い間放置していませんか？ 時計設定（日時）を設定し直してください。(P9)

仕様

電源	乾電池	DC 1.5 V (単4形アルカリ乾電池×1本使用)
	充電式電池 (別売品)	DC 1.2 V(ニッケル水素充電式電池 HHR-4AG × 1 本使用) USB 充電(充電時間: 約2 時間)

音声	サンプリング周波数 ([ ] 内は録音モード)	(マイク / ライン録音) 48 kHz [PCM 48kHz] 44.1 kHz [PCM 44.1kHz] 44.1 kHz [MP3 320kbps] 44.1 kHz [MP3 192kbps] 44.1 kHz [MP3 128kbps] 22.05 kHz [MP3 64kbps] 16 kHz [MP3 32kbps] (FM ラジオ録音) 32/44.1/48 kHz のいずれかを自動選択 [MP3 128kbps]
	録音方式	リニア PCM(16 bit)/ MP3
	再生可能ビットレート (MUSIC(M)フォルダ)	16 kbps ~ 320 kbps(MP3) 32 kbps ~ 192 kbps (WMA)
	再生可能サンプリング周波数 (MUSIC(M)フォルダ)	8 kHz ~ 48 kHz(MP3) 22.05 kHz ~ 48 kHz (WMA)
	周波数特性 (− 10 dB、録音 / 再生時) ([ ] 内は録音モード)	40 Hz ~ 23,000 Hz [PCM 48kHz] 40 Hz ~ 21,000 Hz [PCM 44.1kHz] 40 Hz ~ 21,000 Hz [MP3 320kbps] 40 Hz ~ 20,000 Hz [MP3 192kbps] 40 Hz ~ 17,000 Hz [MP3 128kbps] 40 Hz ~ 7,500 Hz [MP3 64kbps] 40 Hz ~ 6,500 Hz [MP3 32kbps]
	内蔵マイク S/N 比	45 dB(PCM 44.1 kHz) フィルター(JIS A)
	ラジオ受信周波数	FM 76.0 ~ 90.0 MHz (0.1 MHz ステップ)

USB		USB2.0(Hi-Speed) DC 5 V 2.5 W
音声出力	インサイドホン端子	φ 3.5 mm, 16 Ω , 10+10 mW (JEITA)
	スピーカー出力	φ 16 mm, 8 Ω , 80 mW(JEITA)
音声入力	マイク / ライン端子	φ 3.5 mm, 1.00 mV, プラグインパワー対応

最大外形寸法	40.9(W)mm × 99.1(H)mm × 16(D)mm
本体寸法	39.9(W)mm × 99.1(H)mm × 14.2(D)mm
質量	約 55 g(乾電池を含む)/ 約 44 g(乾電池を含まず)
使用温度範囲	0 ℃~ 40 ℃
使用湿度範囲	20% ~ 80% RH(結露なきこと)
充電可能温度範囲	5 ℃~ 35 ℃

記録容量(メモリー容量)	4 GB※

※ 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

電池持続時間

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	録音モード	充電式電池※4	アルカリ乾電池※5
録音時※1	PCM 48kHz （ステレオ）	約 7 時間	約 9 時間 30 分
	PCM 44.1kHz（ステレオ）	約 7 時間	約 10 時間
	MP3 320kbps（ステレオ）	約 9 時間	約 13 時間
	MP3 192kbps（ステレオ）	約 9 時間	約 13 時間
	MP3 128kbps（ステレオ）	約 9 時間 30 分	約 13 時間 30 分
	MP3 64kbps （ステレオ）	約 13 時間	約 18 時間 30 分
	MP3 32kbps （モノラル）	約 14 時間 30 分	約 21 時間

	録音モード	充電式電池※4	アルカリ乾電池※5
再生時※2	PCM 48kHz （ステレオ）	約 6 時間	約 8 時間 30 分
	PCM 44.1kHz（ステレオ）	約 6 時間 30 分	約 9 時間
	MP3 320kbps（ステレオ）	約 7 時間 30 分	約 10 時間 30 分
	MP3 192kbps（ステレオ）	約 7 時間 30 分	約 11 時間
	MP3 128kbps（ステレオ）	約 7 時間 30 分	約 11 時間
	MP3 64kbps （ステレオ）	約 8 時間 30 分	約 12 時間
	MP3 32kbps （モノラル）	約 9 時間	約 13 時間

FM ラジオ受信時※3	約 4 時間 30 分	約 6 時間 30 分
FM ラジオ録音時※1	約 4 時間	約 5 時間 30 分

録音可能時間の目安

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM 48kHz （ステレオ）	約 5 時間 30 分	1536 kbps
PCM 44.1kHz（ステレオ）	約 6 時間	1411 kbps
MP3 320kbps（ステレオ）	約 27 時間	320 kbps
MP3 192kbps（ステレオ）	約 45 時間	192 kbps
MP3 128kbps（ステレオ）	約 68 時間	128 kbps
MP3 64kbps （ステレオ）	約 136 時間 30 分	64 kbps
MP3 32kbps （モノラル）	約 273 時間	32 kbps

内蔵メモリー（4 GB）使用時

※1 録音モニターなし、録音ランプ OFF、
録音レベル調整 自動
※2 スピーカー再生：音量 9、再生速度 1 倍速
※3 スピーカー出力時
※4 専用充電式電池（HHR-4AG）を使用
※5 パナソニックアルカリ単4形乾電池を使用

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの 一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻きつけたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■SD カードの互換性

microSD カードと microSDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。
（microSD カードは microSDHC カード対応機器でも使用できます。）非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、microSDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合はカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんのでフォーマットしないでください。

■SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

内蔵メモリーや SD カードのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと無音状態で録音するなどして内蔵メモリーや SD カードを上書きしてください。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	⚠注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電池を取り出す

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

警告

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

単 4 形電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

警告

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、ステレオインサイドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ステレオインサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話（　　　　　）　　　　－
お買い上げ日　　　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは
「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P70 ～ 79）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	IC レコーダー
● 品　番	RR-XS410
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6 年
当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電話　365日 受付9時〜20時

フリーダイヤル 携帯·PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル 携帯·PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

■ 各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14

東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

■各地域の 修理ご相談窓口（つづき）

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2

沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

さくいん

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

ご愛用者登録について

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。

2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。

3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。

4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

5.本書は日本国内においてのみ有効です。

6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
(ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RR-XS410
保証期間	お買い上げ日から **本体 1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　　様 電話（　　）　－
※販売店	住所・販売店名 電話（　　）　－

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
ネットワークシステム事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。